



2008年度部報

力漕

Vol. 16

WILD ROVER CREW

同志社大学体育会ボート部



同志社大学ボート部 部報 カヌー 曲日 Vol. 16

2008年度 同志社大学ボート部 部報



目次

「力漕」刊行に寄せて	1
決意表明	7
年間スケジュール	22
戦績	23
来シーズンへ向けて	47
現役会計報告	50
現役特集	51
艇友会特集	57
他大学寄稿	64
卒業生の言葉	68
広告	79
編集後記	90

力漕刊行によせて

同志社大学体育会ボート部部長 岡本 博公

艇友会の皆様におかれましては日ごろからボート部に多大なご尽力を賜り厚くお礼申し上げます。

また、学生諸君は、ボート部で日々厳しく自らを鍛えていること、何よりのことと存じます。

ボート部が、自分たちでたてた大きな目標に向かって、一致団結して邁進する姿を心に描き、そして、目標を達成して皆で喜ぶ姿まで思いうかべると、大変うれしくなってきます。こうして、一人、あれやこれやといろいろ思うことができるるのは、そしてそれ以上に自由に巡らせた思いのなかで、勝手に遊びながら喜ぶができるのは、おそらく、年をとったからだと考えます。余裕だ、というのはかならずしも適切な表現ではないかもしれません、ある種の一喜一憂の世界から少し距離を置けるようになったのかもしれません。

私はボート部長としてかれこれ 20 数年を過ごしたことになります。体育会各部の部長の中でも、相当に古い方で、最古参とはいわないまでも、おそらくそれに近い一人になりました。こうしたことがなせる技かなとも思います。年の功でしょうか。

年をとる ことがうれしい 年になる

と、数年前の年賀状に書きましたが、実際、馬齢を重ねると、いやなことはあまりみないでおこう、考えずすまそう、と思うことができるようになったような気がします。ことに若い人たちに対してそのようになったようです。そして、うれしいことだけを、よかったですだけを思いながら、学生と接するのは、気楽でいいものです。ボート部の活躍もまさにそうで、私にとって、皆さんのが活躍した局面、そのシーンだけが残っています。ボート部の皆さんには、今年もきっとよい情景をみせてくれるでしょう。記憶に刻む活躍を大変楽しみにしています。

監督 目片 雅喜

艇友会の皆様、現役部員のご父兄の皆様、日頃はボート部の活動をご理解いただき、物心共のご支援ありがとうございます。心よりお礼申し上げます。

さて、2008年のシーズンは「インカレ4+優勝」を目標に、川口キャプテン中心に関東勢に挑戦しましたが、3位の結果に終わりました。2007年は順位決定に留まっており結果は向上したものの、高校時代からのボート経験者が大半で多数の部員がいる大学との差は僅かと考えたいのですが、されど大きなものでした。

そして、2009年は千原キャプテンを中心に「インカレ8+決勝進出」を目標と決めました。4+での結果が出ないうちに激戦区の8+に挑戦することには色々な思いがあります。現状の部員のレベルからすると「インカレ4+優勝に拘る」ことも一つの選択肢かもしれません、学生時代にボート競技で「一番の足跡が残せる8+(部内競争、クルー練習、レース)」に挑戦を現役部員が決めたのですから、現場スタッフとして最大限の協力に頑張っていきたいと考えております。私の学生時代は8+しか試合に出ないような風潮があり、他大学もそのような感じでした(極端に表現すると、部員が10名いる大学は8+をやる、その他の部員が少ない大学が小艇をやる)。大学生のボート競技は社会人のそれとは異なり、レースに勝つことと同等に練習で学ぶことが大切だと考えます。具体的に「何を学ぶ」については部員それぞれ違うと考えますが、大学を卒業してからその「学び」がわかると思います。8+インカレ挑戦で部員全員が大きく成長し、来る120周年へ向けてボート部自体が大きく成長する年にしたいと考えております。

最後になりますが、数々の課題が山積のボート部で現役部員たちは自ら目標を持って練習に打ち込み、目標に向けて頑張っております。練習、試合を問わず、現役部員の頑張る姿を艇友会及びご父兄の皆様が見に来ていただくことをお願いいたします。

コーチ 高橋 育

『覚悟』を決めました。対校9人で戸田に乗り込みます。

『覚悟』を決めました。選手の面倒を責任持ってみます。

『目標』は対校8+ インカレベスト4。2nd4+ インカレベスト4。

今年は色々な意味でとても楽しみです。戦力が近年では一番充実しています。(エルゴ平均値は確実に向上しています。)何よりも心強いことは、現場で選手をサポートするスタッフが増えたことです。「根性」松尾君に加えて、「カリスマパワー」末廣君、「スーパーバランス」川口君が今年から現場で選手をサポートしてくれています。絶大な信頼を寄せるこことできるスタッフが揃いました。去年はできなかったクルー別コーチングを今シーズンは実施していきます。

「変化」がありました。この一年間で選手の目つきが変わりました。トレーニングに取り組む姿勢が変わりました。物事に取り組む集中力が確実に向上しました。

「足りない部分」はまだまだあります。「足りない部分」をどのように補うかは、最後には個人次第です。自治自律の精神を持ったアスリートになってください。

「厳しさ」はまだまだ足りません。選手もコーチも「厳しさ」がなければ勝利は有り得ない。そのことを理解し、日々取り組んでいきます。

「熱い」応援をお願いします。生意気なコーチです。しかしOBの皆様と向いていく方向は同じです。今年も熱い応援を心よりお願い申し上げます。

コーチ 松尾 智之

まずは、現役のご父兄の皆様ならびに艇友会のOBの皆様には普段よりご理解、ご支援のほど誠にありがとうございます。これからも変わらぬご支援のほどよろしく御願いします。

新人コーチとなり今年で2年経ちますが、まだまだ力足らずで日片監督、高橋コーチに負担を掛けっぱなしで大変申し訳なく思っております。今年は今まで以上に頑張り監督、コーチ、そしてなにより現役の力になりたいと思う次第です。

現役諸君へ

今の現役は皆さんご存知の通り「2011年エイトで勝つ」を目標に日々の練習を頑張っていること思います。2011年に現役でいるのは一部ではありますがその目標のために自己満足の練習で終わることの無いよう自分に厳しく、そしてボート部の為に何が出るかを考えて行動に移して欲しいと思います。

コーチ 末廣 聖也

2008年4月より社会人となり、東京での勤務が始まりました。もう力漕も書くことはないだろうと思っておりました。

しかし、仕事にも慣れ始め、半年が過ぎたころ、突然大阪への転勤を告げられました。私は二つ返事で転勤を受け入れました。その日の帰り道に、誰よりも先に連絡をしたのが高橋コーチでした。

そして2008年10月、正式に同志社大学ボート部のコーチとして、微力ではあります BUTサポートさせて頂いております。

サポートする側となり、現役部員と会話をしたり、練習に対する取り組み姿勢をみていると、私が現役だったころを思い返します。
ボート部生活に対してどのような想いでいたのかを…。

ある本にこんな事が書いていました。
「天国も地獄も、見た目はなんら変わらない。そこにいる人の思いや考え方で、天国にも地獄にもなるのです。」と。

現役のみなさんは今のボート部生活をどのように思っているのでしょうか?ただ厳しいものだと考えるのか、すばらしい経験ができる場と考えるのか、私は思いや考え方ひとつで結果は変わってくると考えています。

現役部員には、シーズン前に再度これまでのボート部生活を振り返ると同時に、自分の目標を再認識してほしいと考えています。
そして同志社大学ボート部としての目標を必ず達成しましょう!

最後となりましたが、OB・OGの皆様には、今後とも変わらぬご指導ご鞭撻をお願いするとともに、さらなる熱い声援をお願い申し上げます。

決意表明

コーチ 川口 正嗣

今年度は、大学院生として学生コーチをさせていただきます。

現役時代に新入部員育成の重要性を感じており、この部分を改善することでインカレ8+優勝に大きく近づけると考えていました。そこで、私の役目は、新入部員育成によるボート部の底上げです。底上げにより、部内競争がより一層活発化することを期待しています。また、今年度の新入生は、2011年度インカレでは3回生です。この新入生の実力が対抗8+の結果に大いに関わってきます。そこで、私自身も新入生と同じキャンパスにいるので、新入部員勧誘から参加し有望な新入部員と人数を確保していきたいと考えております。

最後に、O.B・O.Gのみなさん。全員で同志社ボート部を盛り上げ、勝てる集団にしていきましょう。今後も、ご協力お願いします。

新4回生



主将 千原 第資

同志社大学 商学部 商学科

関西高等学校出身

身長 176cm 体重 72kg

これまでと違う立場にいる今、「責任」という言葉の重みを何十倍にも感じている。どうすれば強くなれるのか、部員がついて来てくれるのか、思いを巡らせない日は無い。先輩方の期待にプレッシャーを感じることもある。しかし今は自分の代で結果を出すことへの意欲の方が自分の中では大きくなっていることを感じる。絶対に成功させたい、勝って後輩に胸を張れる何かを残してやりたい。そんな気持ちでいる自分が此処にいる。

大学生活最後の年である。結果を残すことに全てを賭け、有終の美を飾りたいと思う。



会計 三谷 大輔

同志社大学 工学部 機械システム工学科

奈良女子大学付属中等教育学校出身

身長 177cm 体重 70kg

ボート部に入りボート中心の生活が始まり早くも3年経とうとしています。僕は正直に言ってほんの軽い気持ちで入部したので、自分がこんなに必死に全国で勝つためにボートに打ち込むとは思いませんでした。昨年度は自分にとっての2度目の全国大会でした。2回生の時に何もわからず必死に挑んだときとは違い自分の力で勝負できるという感覚がありました。結果はインカレも全日も順位決定でとても悔しい思いをしました。しかし自分たちに力がついてきた分、昔嬉しかった同じ順位決定でも悔しく感じられたのだと思います。いよいよ残すは最後の1シーズンだけとなりました。入部してからの自分を振り返ると1、2回生の頃は体力もなくボートにも慣れていないかったので練習をただこなすだけで精一杯で、でもそれでも十分成長を感じられました。しかし3回生になり、ただ決まった練習をするだけでなくその質を高めることの大切さを感じました。毎モーションの質を高めること、それは単純であってまたとても難しいことだと思います。今僕は過去を振り返って今とても練習が充実しているのを感じます。去年と同じ悔しい思いをしないためにも今できることを一生懸命やつていこうと思います。



大沼 茂彬

同志社大学 文学部 文化史学科
京都成章高等学校出身
身長 184cm 体重 74kg

自分がボート部に入った時、自分がこのボート部で最上回生になるなんて全くイメージできなかつた。

1回生のころ、朝早い練習はほんとにつらく、ボートというスポーツそのものが憎いほど大嫌いでつまらなく、怖い先輩は多く、日々の雑用は一生終わらないのではないかと思うほどの生き地獄だった。

今の僕は朝早くにボートを漕ぐことを人生の喜びとし、心の底からローイングというスポーツを愛している。

こんな僕にできることは、より多くの同回や後輩にボートというスポーツを愛してもらえるように、まず自分自身がこれまでよりもっとボートを好きになって、そんな僕の姿を他人に見てもらうことなのではないだろうか。

もし、この部のみんなが今以上にもっとボートを愛せたら、もっとボートについて考える時間が増えたなら、この部はほんとに素晴らしい集団になれる。

そんな集団の創造物とも言える対校エイトはきっと日本一速いだろう。



佐藤 勇樹

同志社大学 社会学部 教育文化学科
上宮高等学校出身
身長 169cm 体重 72kg

今日も味噌汁がうまいと思う。日々が充実している証拠である。

気がつけば最上回生。というのは嘘である。長い月日がたちここまでやってきた。残すところはあと7か月である。去年の夏、皆が走り続けている中で僕は足を止めてしまった。自分で時が止まり、長らくやる気がないまま惰性の日々を送ってしまった。同回生と実力差がつき、その差は大きく広がった。恥ずべきことである。今日その差を埋め追い越すために必死に練習しているところである。

「常に生産性のある日々を」

日向武史著「あひるの空」に登場する台詞である。毎日練習していると寝る前に色々なこと

を考えてしまう。体がしんどい時、やる気を失った時この言葉を思い出し励みにして頑張っている。もうあと7か月しかない。欲しいのはこいつを乗せたら勝てるという「信頼」だ。インカレ決勝のゴールはすぐそこまで来ている。全力で突っ走ろうと思う。

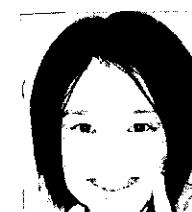


岡 歩美

同志社大学 政策学部 政策学科
滋賀県立守山高等学校出身

最上回生として、統制として、責任のある立場に喜びとプレッシャーを感じています。昨年の9月から、最上回生のマネージャー3人で決めた目標が3つありました。1つは、艇友会費をマネージャー全体で目標達成させること。2つ目は、スポーツ選手のための食事改善、3つ目は、マネージャーのボート競技の知識の習得です。

これらを達成するため、多くの人からの支援を頂き取り組んできました。しかし、まだ完全に遂行することはできておりません。私たちがボート部での過ごす最後のこの年で、「どれだけ向上できるか、それだけ選手の勝利に貢献できるか」それは私の働きにかかっていると考えております。最後の夏にやりきったという達成感、爽快感を味わうため、全力で取り組みたいと思います。



小野 麻衣子

同志社大学 文化情報学部 文化情報学科
松陰高等学校出身

とうとう私も最上回生となった。当番の際、先輩方がマネ部屋のパソコンに向かい、忙しそうにしていたわけが、ようやくわかるようになった。やるべきことはたくさんある。昨年、北野さんが大きく広報の仕事の幅を広げた。そのことが当たり前となる。それと同じ、もしくはそれ以上のことをやっていかないといけないことがとてもプレッシャーだった。HPの更新は教えてもらったものの、全てのページは理解しきれず、何度もやってもページがうまく表示されないことばかりだった。だからこそ、ページがきちんと表示されたときの感動は忘れることができない。

去年の試合は関選やインカレ、加古川と様々な試合の付き添いをやらせていただき、一年よりも深く「同志社大学ボート部」に関わられたと思う。特に4×の艇付きは楽しかったし、

なんとしてでも勝って欲しいと思えたクルーだった。

インカレが終わり、4回生が引退されてからは、岡、中川、今関、後輩マネージャーによりわけ支えられてきた。私の足りない部分を補ってくれる仲間がいることの大切さを、最上回生となって再認識するようになった。

全てのイベントに「最後の」という言葉がつくようになった。もう来年は現役としての自分はないのだから、日々を悔いのないよう取り組んでいきたい。



中川 裕紀奈
同志社大学 政策学部 政策学科
函館白百合学園高校出身

いよいよボート部での最後の一年が始まってしまいました。

入部したばかりの頃は、これから長いボート部生活が始まるのだと思っていたのに、本当にあつという間です。

今年はボート部のマネージャーとして何が出来るか、積極的に行動できる一年にしたいと思います。艇友会の仕事だけでなく漕手にとって何が必要かを考え、行動していきたいです。また、後輩に伝えていかなければいけないこともきちんと引き継いで、来年の今頃には悔いの残らぬよう、精一杯残りのボート部生活を過ごして行きたいです。

新3回生 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·



副将 菊池 修一朗
同志社大学 社会学部 社会学科
唐津東高校出身
身長 170cm 体重 75kg

気がついてみれば3回生である。思い起こせばこれまで、先輩におんぶに抱っここの2年間だった。末廣先輩、千原先輩を筆頭に乗艇練習からエルゴ、合宿所生活にいたるまで、本当に何から何までお世話になってきた。しかし今、気がつけば3回生である。先輩にお世話になった分、同回と後輩、漕手とマネージャー関係なく、部のためになることは何であろうと骨身を惜しまず取り組むつもりだ。

競技に関しては、「張り合うこと」を突き詰めていきたい。泥臭く、そして純粹に競技と向き合いながら、苦楽を共にする仲間と張り合い、競争しあうことで互いを高めあう、良い雰囲気を作っていくたいと思う。そうして、“自分がこの部を強くする”という気持ちで残りの1年半を過ごし、戸田に同志社の校旗が上るその日まで頑張り抜きたいと思う。



主務 今関 将太
同志社大学 社会学部 メディア学科
千葉県立成東高等学校出身

主務になって約半年。この半年は自分の人生にとって最も濃い時間だったように思う。OBの先輩方と多くかかわる機会を持つようになり、さらには他大学のボート部や同志社の体育会ともたくさんつながりができた。そういう新しい出会いは自分の考え方や価値観を大きく教えてくれた。

そして何よりも、主務になったことでこの部において自分のやるべき事がやっとできたという喜びがあった。

男子マネージャーになってからの日々は正直に言って辛いと感じたときも多かった。「絶対にここで優勝してやる」と1回生のときに思ったインカレは、外から見ることしかできず悔しかった。マネージャーという立場をいま一つ受け止められず、漕ぐことへの熱意は完全には消えなかつた。

しかし、役職を与えられ、仕事に追われ、部全体のことを考えるようになってからはそういった気持ちは薄れていった。今は自分にはこっちの方があつているとさえ思える。何よりも今の自分は本当に毎日を楽しんでいる。

そしてそんな日々のバイタリティーは厳しい練習を毎日こなしていく漕手たちであり、部員の食事をつくり艇友会費集めに奮闘する女子マネージャーたちだ。彼らの頑張りに答えるためにはまだまだ自分の頑張りは足りないと感じる。願わくば残りの1年半、彼らにとってのバイタリティーになるような主務になりたいと思う。

最後になりましたが、引退なされた4回生の先輩方には本当にお世話になりました。今の自分がいるのは先輩方のおかげだと思っています。4年間お疲れ様でした！



打谷 晃

同志社大学 工学部 機械分子工学科

福井県立敦賀高等学校出身

身長 181cm 体重 80kg

昨年のシーズンは、インカレで2ndクルーに乗せていただいたり、全日本新人選手権で準優勝というそれなりの結果を残すことができ、少しほんの成長を実感できた年であったと思います。しかし、インカレで決勝に残れなかった時の悔しさや、全日本新人選手権で勝てなかつたときの悔しさは今も持ち続けています。今年は、対抗クルーが8+でいくことが決定し、また目標もインカレベスト4となりました。今年はまず、自分はもちろん、部活全体を盛り上げていけるような選手になりたいと思います。そしてこの目標が必ず達成できるように、日々の練習に励みたいと思いますので、これからもボート部に対するご支援よろしくお願いします。



木下 啓史

同志社大学 経済学部 経済学科

履正社高等学校出身

身長 180cm 体重 73kg

去年は初めてのインカレがありました。結果は予選敗退。全国との力の差、自分の力のなさを痛烈に感じました。そして、その悔しさを噛みしめ臨んだはずの新人でも予選敗退という結果に終わり、自分はインカレで負けて何を決意したんだと情けない気持ちで一杯でした。さらに他の同回生が準優勝をし、表彰台に上がっている姿を見て今まで感じたことのない悔しさがこみ上りました。今年は絶対にそんな悔しい思いをしたくない。この冬練で身につけたことをフルに活用し、シーズンではしっかり結果を残したいと思います。



木下 伸也

同志社大学 工学部 エネルギー機械工学科

関西大倉高校出身

身長 183cm 体重 78kg

同志社大学ボート部に入って2年が経とうとしています。1日が短く感じるのに1年はとても長いように感じました。冬を越すと3回生になると思えば、もっとしっかりしなくてはと思うこの頃です。こんな独特な個性をもつボート部の中でよく付いてこれたと思います。

前シーズンは、最初の頃は舵手付フォアに、6月ぐらいからは舵手なしクオドルブルやシングルスカルという様々な艇に乗ってきて経験をつけました。去年がピークであったと言われるよう今年も自分なりに頑張っていきたいと思います。



園田 真大

同志社大学 商学部 商学科

熊本学園大付属高校

身長 178cm 体重 78kg

昨シーズンは少しずつではありますが、日々成長していると実感できるものでした。1位になることはできませんでしたが、戸田のレッドカーペットを踏む感覚は格別なものでした。

来年からは対抗が舵手つきフォアからエイトになります。今までとは比べものにならないくらい厳しい戦いが予想されます。他大学に勝つためには、練習の量だけでなく質も大事になると思います。「もうだめだ」「しんどい」と思ったときに、手を抜くか、もう一息頑張れるかでかなり変わると思います。もうだめだと思ったら逆にチャンスと思い、立ち向かいたいと思います。

熊本で応援してくれている両親や恩師の内藤先生のためにも、わたくし、園田真大、今年はやります！



田中 克弥

同志社大学 商学部 商学科

洛南高等学校出身

身長 178cm 体重 72kg

ボート部に入って早1年半が過ぎました。昨年から学連を任せられました。最初はみんなが出てる大会に自分だけ選手として出られないことが本当に悔しかったです。しかしこの仕事をしているうちに漕げることって本当にありがたいことなんだなあということを心の底から思いました。2回生でまだ漕手である間にこのことに気づいた自分は幸せだと思います。だから今年は常に感謝の気持ちを忘れず残りの漕手生活悔いのないように過ごしたいと思います。



西本 孝志

同志社大学 工学部 エネルギー機械工学科
石川県立金沢泉丘高校出身
身長 172cm 体重 77kg

このボート部に、入部してはや2年が経ちました。この間に本当にいろいろなことがありました。まず、このボート部の部員たちとの出会いがありその他いろいろなことがあります、一年は過ぎて行きました

そして2年目です。2年目に入ると1年目とは違い大会の数が大幅に増えて、そして初めての戸田でのレースもありました。正直言って戸田での初めてのレース＝インカレに行くまでどうして僕たちはこんなにしんどい練習をほぼ毎日繰り返さなければいけないのかと自問自答し、時にはめげたり、またある時には同回に文句を言ったりもしたり、あるときは変なテンションになり人格が崩壊しそうになりました。でも、インカレのレースが終わった後、感じたことはここで勝つためには今の自分じゃダメだという現実と何でこんなにも練習をしなければいけないかというぼんやりとした形でした。

そしていざ、この思いを胸に刻んで挑んだ新人戦でも一つも勝てませんでした。

だから、残り少ない戸田でのレースに勝つためにやはり日頃からコツコツということメリハリをつけてやるということを意識して頑張ろうと思いました。



福重 太郎

同志社大学 工学部 エネルギー機械工学科
福岡県立久留米高等学校出身
身長 172cm 体重 55kg

また一年が過ぎようとしている。本当に、いつの間に？という気持ちだ。昨年は新人戦、加古川と同学年のクルーで頑張ってきた。今年は同志社の名前を背負う対校に乗る。責任は重大だ。いつまでも新人COXの気持ちでいる訳にはいかない。最近になって08年卒の渡辺先輩の「勝つための覚悟を決める」という言葉の意味が理解できてきた。今年はきっとその覚悟“の年だと思う。

ボート部にいると不思議なもので、自分の情けなさやダメなところがよくわかる。例えば、勝負に熱くなってしまふことしか考えられなくなり、周りのマネージャー及び漕手のサポートに気づかなくなったりする。上回生がそんなことじやつまらない。COXとしても、人間としても一年一年前に進んでいこうと思う。



森福 将之

同志社大学 商学部 商学科
京都市立西京高等学校出身
身長 174cm 体重 75kg

昨シーズンを振り返れば、負けてばかりの僕だった。朝日、関選、インカレ、全日本新人、加古川…同期は優秀な成績を残していく、目に見えて強くなっている同志社CREWの中で僕は…。しかし、シーズンオフのロングレース、HEAD OF THE SETAで初めて勝てたことは、僕にとっていつもとは違う試合だった。僕たちのクルーにとってこの試合は好条件で端から見れば、勝てて当たり前のたいしたことのないレースだったし、バカにされるかもしれないが、僕は勝つことがこんなに嬉しくて、楽しいことなのかと心底感じた。もう一度あの感覚を味わいたい。だから僕は努力します。



池田 ひかる

同志社大学 文学部 英文学科
京都府立嵯峨野高校出身

ボート部に入部してから二年目を迎えようとしています。昨年は、審判の免許やモーターの免許の取得、栄養教育などによる知識力アップなど、スキル的には収穫の多かった年でした。また、後輩もでき、今まで通りにやっていた仕事に加え、後輩に仕事を教えるという新たな責任感をもちながら、新鮮な気持ちで過ごした一年でした。今シーズンは身につけたスキルを十分に発揮し、四回生の先輩方が引退されても自身をもって後輩たちをリードしていくために、ぶれない信念をもって マネージャー業に励んでいきたいと思います。



今井 文美

同志社大学 文学部 英文学科
京都府立嵯峨野高校出身

ボート部に入部してはや3年目を迎えました。この間勧誘されて入部したような気がするのに、もう後輩もできました。この2年間、先輩にはたくさん仕事を教えてもらい、同回にはたくさん支えてもらい、後輩にはたくさん癒してもらいました。私はマネージャーですが、精神的にみんなに支えてもらったことがたくさんあります。ある時は、頑張るみんなを見て

私も頑張らなきゃと思い、またある時は、部員に笑わせてもらい元気をもらいました。支える立場である私も、逆にみんなに支えられています。部員はみんな、強くて、優しい。そんなみんなが私は大好きです。精一杯力になりたい、と思います。最近艇友会の見習いとして、中川先輩からいろんな事を教わります。しっかり覚えて、一人前の艇友会として部に貢献したいと思います。3年目、最上回になる年でもあるので、今までに築いたもの、新しく挑戦するもの、どちらも大切にして、部を支えたいと思います。これからも、よろしくお願ひ致します。



大澤 成美
同志社大学 政策学部 政策学科
埼玉県立熊谷女子高校出身

今振り返ると、この一年は、私にとってすごく充実した年でした。ボート部で過ごすのも二年目になり、仕事や人に慣れて、後輩もでき、自分がしっかりしなければならないという気持ちがでてきたのかな、と思います。そして何より、漕手やマネージャーとの絆が時間をかけて深くなつたことで、マネージャーとして漕手をささえていきたいというモチベーションの向上や明確な目的がしっかりと持てたことが大きいと思います。

今年は新たに後輩ができ、夏が終われば自分たちが最上回生になります。もっと自分自身にプレッシャーを与える、後輩にもいろいろなことを引き継いで、自分も成長していきたいです。マネ業はもちろん、常に真心を持って、周りのことを考えられる、周りの見える人になりたいです。

これからも宜しくお願ひします。



奥 知里
同志社大学 政策学部 政策学科
滋賀県立石山高等学校出身

今、沢山の方に有難うと伝えたいです。決意表明というよりは今の思いをぶつけさせて下さい。

昨年夏、インカレを目の前に心身ともに疲れていきました。何をするにも上手くいかず(上手くいっているとは到底思えず)、負のスパイラルに陥っていました。このままでは部員だけ

なく、艇友会員の皆様にも迷惑をかけてしまうと思い、退部を決意しました。病気であったことや、退部を考えていたことを理由にインカレには参加しませんでした。この10日間で気持ちを整理して在部・退部を決めるための不参加もありました。このことを、戸田に発つ部員にメールで送信したところ、先輩・同回生から励ましや温かい言葉が返ってきました。インカレに行かない、なんていう前代未聞なことをしたので怒られるばかりと思っていた私は、逆の内容でびっくりしたことを覚えています。その後も、戸田での模様や結果を送って下さり、最終日には「4+3位入賞」という結果も聞くことが出来、今まで辛くて流していた涙が嬉し涙へと変わっていました。

それまでは「離れたってどうってことない。」「こんな自分なんて見放されて当然。」「ボート部なんて大嫌いだ。」と言い聞かせていた部分もありましたが、やはり皆と離れるなんて出来ませんでした。思っていたよりもこの2年間で培った絆は重かったのです。

その後、新人戦で同回生と数日間共に過ごして同回生が大好きだと心から思え、加古川の付添で新人戦に艇付きをした4十クルーの車に同乗した時には、良くわからないですが温かい空気が心地よくて泣きそうになりました。

自分を出すことがいつしか苦手になり、本音どころか発言すらせず、周りに気を遣わせているかもしれません(現にこういう文章しないとしっかりと伝えられないですが)、この人たちなら信頼できる、真剣に話し合える仲間だと感じています。

私を見放さずに引き止めてくれた皆さん。本当に有難うございます。皆さんの思いを無駄にしないようにもっと自分自身が強い心をもって、最後はそんなこともあつたなと2回生の夏を笑って話して笑顔で引退したいです。

新2回生



植田 義之
同志社大学 商学部 商学科
関西高校出身
身長 186cm 体重 80kg

同志社大学ボート部に入部して、はやくも1年がたちました。私は高校からボートを始めていて、漕歴は4年になります。しかし、まだまだ未熟で教わることばかりです。改めて思うと、ボートとは本当に奥が深いものだと痛感させられます。去年のインカレでは、4+3位という結果を残すことができました。これは一緒に乗っていた先輩方の支えがあつての結果です。今年からは私も先輩になります。いつまでも支えてもらっているわけにはいきま

せん。今度は支える側になり、結果を残していきます。



大越 郁弥

同志社大学 理工学部 化学システム創成工学科
近畿大学付属高校出身
身長 180cm 体重 70kg

僕は1回生の一年間様々な経験をし、ボート部とは関係無い所でなのですが、金銭面も精神的にも肉体的にも辛い時期があり、同回生にも上回生にも迷惑をかけていました。これからもボート部に色々と迷惑をかけてしまうかもしれないですが、これから後輩が入ってるのでこの経験を生かしたいと思います。僕ら新2回生が4回生になるときにボート部が創立120周年となるので少しでも同志社大学ボート部の力となれるようにこれからも日々努力していきたいと思います。



加藤 駿

同志社大学 経済学部 経済学科
南山高校出身
身長 170cm 体重 65kg

ナックルレガッタ、淀川レガッタ、琵琶湖・京都レガッタ、そして加古川レガッタと数々の試合を経験しました。一年の目標であった加古川レガッタではいいところまでいったのですが「優勝」の二文字に一度も、たどり着くことが出来ませんでした。しかし、二回生になり、朝日レガッタ、インカレ、全日本新人と、ボート部員としての本番はこれからだと思うので、過去の敗戦をバネにこれから練習を頑張り、少しでも上のクルーになり、「優勝」にたどり着きたいです。



中村 康治郎

同志社大学 商学部 商学科
静岡学園高等学校出身
身長 177cm 体重 73kg

何故、自分は今こんな苦しい思いをしてボートをやっているのか。入部当初、こんなことを常に思っていました。自分は、2年間の浪人生活を経てこの大学に入学したわけで、何の

サークル・部活にも入らず、専ら勉学に専念するつもりでいました。まあ、これが2年間浪人した者の身の振り方かと・・・。

しかし、今はというと、手にマメつくり、必死こいて先輩に追いつこうとがむしゃらに頑張っている自分がいます。入部した理由?ボートをやる意味?そんなことはたかが1年間漕いだ者にわかるはずがありませんし、わからうとする努力をしなければなりません。それこそ日々の苦しい練習ですし、試合における勝利なのだと思います。それ以上のことは自分次第です。

とにかく、自分は大学4年間をボートに捧げると決めたのです。どんなに自分の思うような成り行きにならなくても歯くいしばって頑張っていきます。すべては、3年後の自分のために。



畠田 聖

同志社大学 文化情報学部 文化情報学科
長崎県立口加高校出身
身長 179cm 体重 75kg

気が付けば川の上。月と星が輝いている空の下でボートを漕いでいる。もうこのような生活にも慣れてしまった。自分はなぜココにいて、なぜこんな生活をしているのか。何のためにづけているのか。それははつきり言って、よくわからない。ボートが好きかということさえもよくわからない。しかしここには本当に信頼できる仲間たちや、こんな自分を期待してくれる人たちがいる。その人たちの想いが自分に届く限り、漕ぎつけようと思う。



濱島 昌輝

同志社大学 文化情報学部 文化情報学科
洛南高等学校出身
身長 168cm 体重 72kg

私がこの部に入った理由は、今まで何かに向けて最後までやり遂げたことがなく、最後の学生生活を充実したものにしようという目標を持っていたため、他の部活動やサークルを見て回った結果、一番雰囲気の良いと感じたこの部で4年間頑張っていこうと思い、入部を決めました。いろいろな人たちと過ごす合宿所生活、練習、試合などを通じて自分が大きく変わりました。これからはもっと多くのことを学び成長していく、この部を良くしていくよう頑張っていこうと思います。



伊豆川 奈美
同志社大学 商学部 商学科
福岡県立三池高校出身

正直言うと、私はボートとヨットの何が違うのかも分からぬままボート部の素敵な雰囲気に惹かれて入部しました。

マネージャーを通して料理を作ったり、漕手が漕いでいる姿をビデオに撮ったり、はじめての経験をたくさんさせて頂きました。

入部してからとても新鮮な毎日で、合宿所に行くと優しく話しかけてくださる漕手・マネージャーの皆さんに会えることが、いつしか私の楽しみになっていました。

大学生活本当にやりがいがあるものを見つけることができて、ボート部の皆さんに私は感謝しています。

この気持ちを忘れず、これから3年間漕手の為に全力で頑張りたいです。



上田 菜保子
同志社大学 文学部 心理学科
同志社女子高等学校出身

私がボート部に入部したのは学部の友人に試乗会に誘われたのがきっかけです。それまで全く体育会にもマネージャーにも興味がなかったので、しばらくは自分でもなぜ入部したのかはっきりしないままでしたが、今ではボート部に入って本当に良かったと思っています。

良くも悪くも自由な大学で先輩、友人に恵まれ、自分の居場所を得られたことは本当に幸運だったと思います。入部して一年、まだまだ頼りないですが、これからもボート部に少しでも貢献できるよう頑張りたいと思います。



川島 希紗
同志社大学 政策学部 政策学科
愛知淑徳高等学校出身

ボートのことを何も知らなかつた私がこのボート部に入部したのは、ボート部のみんなの人柄にひかれ、この人たちともっと一緒に過ごしたいと思ったからです。マネージャーとい

う役職に対する憧れもあったからかもしれません。そして今、大好きな人たちと約1年色々なことを経験し、自分自身が変わっていったことを実感しています。

みんなをすごく頼りにして過ごしてきたこの1年を、みんなに頼りにされる3年間に変えいっぱいいっぱいお返ししたいです。



川原 彩
同志社大学 社会学部 産業社会関係学科
同志社香里高校出身

私が同志社大学ボート部に入部させて頂いてから、1年が経とうとしています。料理やビデオ撮り等、私にとって全てが初めてで戸惑いもありましたが、新鮮でもありました。マネージャーをどうしてやっているのかと考えた事もありましたが、頑張っている漕手の姿が大好きだというのが私の答えです。頑張っている漕手が少しでも練習に専念出来るように、一生懸命マネージャーの業務をこなし、これから入部してくる後輩マネージャー、同回マネージャー、そして先輩マネージャーと共に大好きな漕手を心から応援したいです。

年間スケジュール

2008年

- 4/3.5.12.19 試乗会
5/3~6 朝日レガッタ
6/14~15 関西学生新人レガッタ
8/2~3 平成20年度 関西選手権大会
8/8 献花式
8/21~24 第35回 全日本大学選手権大会
8/22 関東艇友会
9/18~21 第86回 全日本選手権大会
9/28 第54回 琵琶湖レガッタ
10/17~19 第49回 全日本新人選手権大会
10/26 第43回 京都レガッタ
11/7~9 第19回 関西学生秋季選手権大会(加古川レガッタ)
11/16 総会
12/26 納会

2009年

- 1/2 初漕ぎ
2/14 中部艇友会

2009年 予定

- 5/2~5 朝日レガッタ
5/23~24 関西学生新人レガッタ
7/4~5 平成21年度 関西選手権大会
8/8 献花式
8/20~23 第36回 全日本大学選手権大会
9/10~13 第87回 全日本選手権大会
未定 第55回 琵琶湖レガッタ
10/16~18 第50回 全日本新人選手権大会
10/25 第44回 京都レガッタ
10/30~11/1 第20回 関西学生秋季選手権大会(加古川レガッタ)

成績

二〇〇八



第61回 朝日レガッタ

(2008年 5月3日～6日 滋賀県立琵琶湖漕艇場)

・男子エイト 総合6位

C: 川渕智貴(経4)

S: 千原第資(商3)

7: 川口正嗣(工4)

6: 園田真大(商2)

5: 佐藤勇樹(社3)

4: 三谷大輔(工3)

3: 大沼茂彬(文3)

2: 打它晃(工2)

B: 菊池修一朗(社2)

<予選>

クルー	着順	1000m
同志社大	2	2' 56" 72
関西学院大	4	2' 59" 48
瀬田漕艇クラブB	6	3' 23" 46
大阪大	3	2' 58" 73
明治安田生命	1	2' 46" 05
鹿児島大	5	3' 03" 59

<準決勝>

クルー	着順	1000m
瀬田漕艇クラブA	6	3' 16" 35
神戸大	4	3' 02" 95
早稲田大	1	2' 55" 05
明治安田生命	2	2' 55" 89
同志社大	3	3' 02" 76
関西学院大	5	3' 10" 76

<決勝>

クルー	着順	1000m
京都大	5	2' 52" 56
東レ滋賀ボート部	1	2' 42" 45
早稲田大	4	2' 47" 85
立命館大	3	2' 46" 37
明治安田生命	2	2' 43" 20
同志社大	6	2' 55" 34

・男子舵手付きフォア

C: 福重太郎(工2)

S: 伊藤藍(工2)

3: 木下伸也(工2)

2: 濑川敏克(政4)

B: 西本孝志(工2)

<予選>

クルー	着順	1000m
同志社大	3	3' 25" 46
大阪府立大	4	3' 31" 32
京都大 A	5	3' 32" 21
近畿大「絆」	2	3' 21" 02
東京トヨペット	1	3' 11" 36

<準決勝>

クルー	着順	1000m
京都大医学部「芝蘭」	6	3' 27" 45
同志社大	4	3' 22" 65
熊本大	2	3' 19" 14
トヨタ紡織	1	3' 13" 10
滋賀大経済学部	5	3' 24" 61
浜松医科大「湍」	3	3' 19" 56

☆今年の朝日レガッタは、6位（大学生4位）だった。予選、準決勝、決勝での3試合で良い艇の運びをすることが、まったくできなかった。悔しかった。残念だった。でも、僕たちエイトのメンバーには、まだまだ成長できる余地があると思う。この未完成な状態で、昨年よりも良いタイムだったのだから…。

川口正嗣(工4)

☆今年の朝日レガッタでは、初めて対校エイトに乗せていただき、色々な経験をさせていただきました。これからシーズン本番に入りますが、朝日レガッタで得た事や気持ちを忘れず、常に向上心をもって、インカレ優勝めざして練習していきたいと思います。応援ありがとうございます。

打它晃(工2)

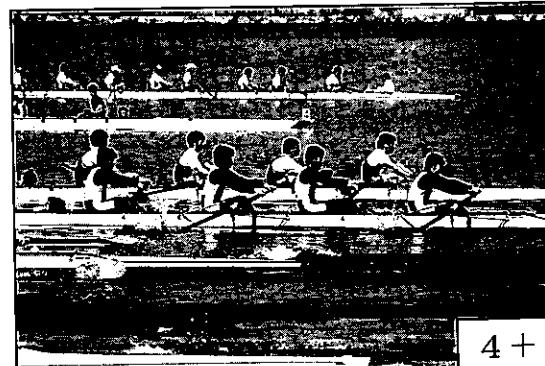
良くついてきてくれてありがとう。

ただ試合の結果には決して満足していません。彼らのパワーなら3分20秒は切れていったはずです。まだまだ漕ぎとしては上級者の入り口を垣間見ただけの段階です。対校に乗って戸田で勝つには足りないところが多すぎます。もう少し、やり方があったのではないかと悔しく思います。次に乗るときにはもっと工夫していきたいと思います。最後に朝日レガッタに応援に来てくださったOB、OG、保護者の皆様、そしてマネージャーのみんな、ありがとうございました。

瀬川敏克(政4)

☆ほぼ二回生のクルーで挑んだ付きフォアでの朝日レガッタ。結果は準決勝敗退だったがタイムはベストが出て、また全員が1000mでローアウトするほど出し切った。出し切って敗れたのだから悔いはないのですが、負けは負けだ。今回の大会でまた一つクルーボートの楽しさや難しさを知った。この経験を繋げて次は絶対に勝ちにいきたいと思う。

福重太郎(工2)



4+

・男子ダブルスカルA

S : 木下啓史(経 2)

B : 河合弘貴(経 4)

<予選>

クルー	着順	1000m
近畿大	5	4' 01" 39
同志社大 A	1	3' 31" 48
南山大 A	2	3' 35" 16
浜松医科大「潮王」	4	3' 49" 15
広島大「端流」	3	3' 40" 71

<準決勝>

クルー	着順	1000m
大阪市立大 B	5	3' 37" 25
大阪歯科大「TAKA39」	4	3' 32" 98
滋賀医科大「mercurius」	2	3' 26" 15
ひた市	1	3' 15" 81
同志社大 A	3	3' 27" 96
大阪市立大 C	6	3' 41" 20

☆四回生として、そして最後の朝日レガッタとして挑んだ今回のレースでしたが、残念ながら準決勝で力及ばず破れました。本当に速いクルーがどのようなものかを見せつけられた形にはなりましたが、得るものは多かったです。この朝日の結果を踏まえインカレに向けて頑張っていきたいと思っています。

河合弘貴(経 4)

・男子ダブルスカルB

S : 森福将之(商 2)

B : 田中克弥(商 2)

<予選>

クルー	着順	1000m
浜松医科大「浹」	4	3' 40" 56
同志社大 B	6	3' 57" 36
鳥取大「EAGLE」	3	3' 35" 93
大阪市立大 A	2	3' 32" 05
京都大	5	3' 51" 09
瀬田漕艇クラブ B	1	3' 24" 00

<敗者復活>

クルー	着順	1000m
同志社大 B	4	4' 10" 36
山口大「青海」	3	3' 56" 92
大阪府立大	1	3' 51" 78
大阪市立大 B	2	3' 53" 23
徳島大 B	5	4' 16" 28

・男子シングルスカルA

植田義之(商 1)

<予選>

クルー	着順	1000m
植田(同志社大 A)	1	3' 34" 93
高橋(明治安田生命)	2	3' 36" 98
池上(神戸大 B)	4	3' 48" 22
中山(龍谷大 A)	3	3' 44" 91
前田(金沢学院大)	棄権	
黒木(滋賀医科大 B)	5	4' 01" 59

<準決勝>

クルー	着順	1000m
野村(京都大 N)	6	3' 49" 13
藤森(ホンダ)	5	3' 47" 65
木村(富山国際大)	2	3' 33" 04
大元(アイスホーリヤマ)	1	3' 28" 49
植田(同志社大 A)	3	3' 43" 01
松本(松江 RC)	4	3' 45" 23

☆この一ヶ月半じっくり艇と向き合うことができました。艇の動かし方、艇の動き方を感じ取ることができました。また自分一人の力でどこまでいけるのか楽しみな試合でした。そして何よりも対岸からの声援が心強かったです。未熟ではありますが、今大会の1×で培ったものを他の部員にも伝え、教えていただいいなと思います。次に乗る艇が楽しみです。ご声援、有難うございました。

有木良輔(経 4)

・男子シングルスカルC

内藤毅人(文 4)

<予選>

クルー	着順	1000m
中村(松江高専)	5	4' 04" 11
内田(瀬田漕艇クラブ A)	1	3' 36" 84
有木(同志社大 B)	2	3' 43" 26
仲矢(岐阜経済大)	棄権	
今野(京都大 K)	3	3' 44" 04
伊奈(南山大 B)	4	4' 00" 06

<敗者復活>

クルー	着順	1000m
原田(大阪大)	4	4' 04" 32
長尾(東京トヨペット)	2	3' 45" 44
松本(松江 RC)	1	3' 40" 72
内藤(同志社大 C)	3	3' 47" 32
磯崎(南山大 C)	5	4' 23" 05

平成 20 年度 関西学生新人レガッタ

(2008年 6月 14日～15日 滋賀県立琵琶湖漕艇場)

・男子舵手付きフォア A

C : 川渕智貴(経 4)

S : 今川達郎(経 1)

3 : 鈴木良知(文情 1)

2 : 畑田聖(文情 1)

B : 中村康治郎(商 1)

・男子舵手付きフォア B

C : 福重太郎(工 2)

S : 加藤駿(経 1)

3 : 横井隆由樹(商 1)

2 : 大越郁弥(工 1)

B : 濱島昌輝(文情 1)

<予選>

クルー	着順	500m
関西学院大	2	2' 09" 87
同志社大 A	1	2' 05" 66
京都大 E	3	2' 14" 86
神戸大 A+	4	2' 18" 42

<準々決勝>

クルー	着順	500m
京都大 E	4	2' 18" 80
大阪大 A	1	1' 58" 26
同志社大 A	2	1' 59" 19
京都大 F	3	2' 08" 88

<準決勝>

クルー	着順	500m
関西学院大 B	3	2' 00" 52
関西学院大 A	1	1' 59" 26
近畿大 B	4	2' 01" 12
同志社大 A	5	2' 03" 46
神戸大 AA	2	1' 59" 77

・男子舵手付きフォア C

C : 今関将太(社 2)

S : 前田征大(経 1)

3 : 西本孝志(工 2)

2 : 岡本真弥(工 1)

B : 小松原駿(経 1)

<準決勝>

クルー	着順	500m
神戸 AAA	5	2' 09" 66
関西大 A	2	1' 57" 27
大阪工業大 A	1	1' 55" 66
同志社大 C	4	2' 06" 87
関西大 B	3	2' 04" 70

<予選>

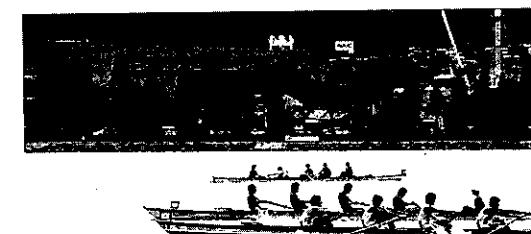
クルー	着順	500m
滋賀医科大 B	4	2' 05" 82
神戸大 A	5	2' 13" 05
大阪工業大 B	1	1' 58" 44
関西学院大 A	2	2' 03" 85
同志社大 C	3	2' 05" 07



4+A

<敗者復活>

クルー	着順	500m
京都大 D	3	2' 26" 48
on the rowing gym	4	2' 30" 62
京大		
同志社大 C	2	2' 24" 77
京都大 F	1	2' 18" 05



4+A

<準々決勝>

B クルーの準々決勝をご参照下さい。



4+B



4+C

平成 20 年度関西選手権競漕大会

(2008年 8月 2日～3日 大阪府高石市浜寺ボートコース)

・男子舵手付きフォア

C : 川渕智貴(経 4)
S : 千原第資(商 3)
3 : 川口正嗣(工 4)
2 : 園田真大(商 2)
B : 植田義之(商 1)

準優勝

<予選>

クルー	着順	2000m
岡山大	3	7' 09" 52
瀬田漕艇クラブ	1	6' 58" 06
神戸大 A	4	7' 14" 11
大阪府立大	5	7' 55" 61
同志社大 A	2	7' 02" 34

<準決勝>

クルー	着順	2000m
広島大	4	7' 34" 56
滋賀医科大	3	7' 21" 87
同志社大 A	1	7' 08" 11
京都大「水明」	2	7' 15" 61

<決勝>

クルー	着順	2000m
大阪市立大	5	7' 40" 96
岡山大	4	7' 22" 62
同志社大 A	2	7' 17" 29
瀬田漕艇クラブ	1	7' 11" 80
近畿大「絆」	3	7' 18" 94

・男子舵手なしクオドルブル

S : 木下啓史(経 2)
3 : 木下伸也(工 2)
2 : 西本孝志(工 2)
B : 内藤毅人(文 4)

優勝

・男子ダブルスカル
S : 森福将之(商 2)
B : 田中克弥(商 2)

<決勝>

クルー	着順	2000m
甲南大	3	7' 28" 85
同志社大	1	7' 12" 63
神戸大	2	7' 25" 06



4+



4×

<予選>

クルー	着順	2000m
愛媛大 A	1	7' 33" 38
九州大	3	7' 55" 16
敦賀工業高校 B	4	7' 57" 63
大阪歯科大「TAKA39」	2	7' 50" 71
同志社大	5	8' 40" 08

<敗者復活>

クルー	着順	2000m
同志社大	3	7' 53" 43
金沢大	1	7' 28" 82
高石高校 HM	2	7' 35" 69
和歌山 RC	4	8' 12" 12



2×

・男子舵手なしペア

S : 有木良輔(経 4)
B : 濑川敏克(政 4)

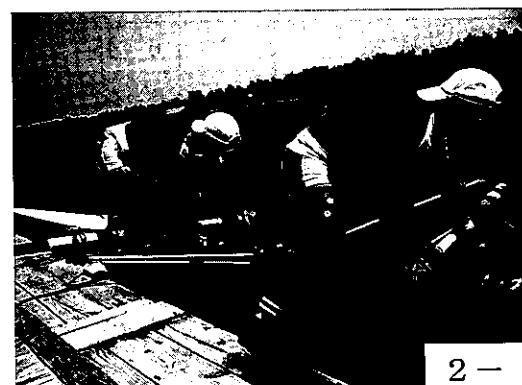
優勝

<予選>

クルー	着順	2000m
大阪市立大	5	8' 04" 54
京都大「壬生」	3	7' 52" 92
浜寺 RC	4	7' 59" 64
同志社大 A	1	7' 44" 29
山口大「鳴鳳」	2	7' 45" 54

<決勝>

クルー	着順	2000m
京都大	5	8' 33" 23
山口大「聚楽」	4	8' 21" 90
同志社大 A	1	8' 03" 88
滋賀大教育「湖憧」	2	8' 05" 27
京都大「壬生」	3	8' 10" 17



2-

第35回全日本大学選手権大会

(2008年8月21~24日 埼玉県戸田市戸田ポートコース)

・男子舵手付きフォア 総合3位

C: 川渕智貴(経4)

S: 千原第資(商3)

3: 川口正嗣(工4)

2: 園田真大(商2)

B: 植田義之(商1)

<予選>

クルー	着順	2000m
東京大	4	6' 50" 28
日本体育大	2	6' 44" 63
京都大	5	6' 54" 08
神戸大	3	6' 48" 27
同志社大	1	6' 39" 27

<準決勝>

クルー	着順	2000m
法政大	2	6' 45" 57
同志社大	1	6' 43" 43
近畿大	3	6' 46" 48
神戸大	4	6' 54" 80

<決勝>

クルー	着順	2000m
大阪市立大	4	6' 47" 36
仙台大	2	6' 38" 91
同志社大	3	6' 44" 84
日本大	1	6' 37" 22

☆今年の目標は、4+優勝。結果は3位…。今度こそ、全日で優勝して戸田の一番高い所に立つ!

川口正嗣(工4)

☆優勝できなかったのは本当に残念ですが、後輩達はこの借りを必ず返してくれると確信しています!四年間ありがとうございました。

川渕智貴(経4)

☆今回は付きフォアで3位という結果でした。しかし、ラストスパートではばてて、全くあがれず自分の力のなさを痛感した試合でした。インカレの反省を忘れず、もっと練習し強くなりたいです。

園田真大(商2)



・男子舵手なしフォア 総合6位

S: 三谷大輔(工3)

3: 大沼茂彬(文3)

2: 打它晃(工2)

B: 菊池修一朗(社2)

<予選>

クルー	着順	2000m
同志社大	2	6' 22" 67
立命館大	4	6' 33" 44
早稲田大	3	6' 31" 58
岐阜経済大	6	6' 51" 45
仙台大	1	6' 21" 32
法政大	5	6' 43" 76

<敗者復活>

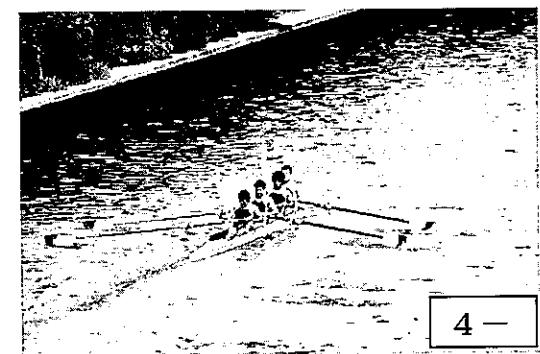
クルー	着順	2000m
大阪市立大	5	8' 12" 13
立命館大	1	7' 06" 59
同志社大	3	7' 17" 68
早稲田大	2	7' 07" 42
岐阜経済大	4	7' 30" 33

<順位決定>

クルー	着順	2000m
同志社大	2	6' 28" 04
早稲田大	1	6' 22" 85
東北大	3	6' 34" 84
法政大	4	6' 38" 06

☆今年のインカレでは、決勝にいけなかった悔しさは今も感じています。この悔しさを忘れず、全日本新人選手権では必ず自分の満足いく結果を残したいです。

打它晃(工2)



4

・男子舵手付きペア

C: 福重太郎(工2)

S: 佐藤勇樹(社3)

B: 鈴木良知(文情1)

<予選>

クルー	着順	2000m
福島県立医科大	2	8' 18" 09
同志社大	3	8' 40" 34
立命館大	1	7' 56" 58

<敗者復活>

クルー	着順	2000m
関西学院大	4	9' 13" 75
大阪市立大	3	8' 37" 83
龍谷大	1	8' 32" 30
東京大	2	8' 33" 33
同志社大	5	9' 23" 64

- ・男子舵手なしクオドルブル
- S : 木下啓史(経 2)
- 3 : 木下伸也(工 2)
- 2 : 西本孝志(工 2)
- B : 内藤毅人(文 4)

<予選>

クルー	着順	2000m
仙台大	1	6' 24" 33
同志社大	5	6' 53" 79
東海大	2	6' 36" 98
名古屋大	4	6' 52" 73
慶應義塾大	3	6' 39" 42

<敗者復活>

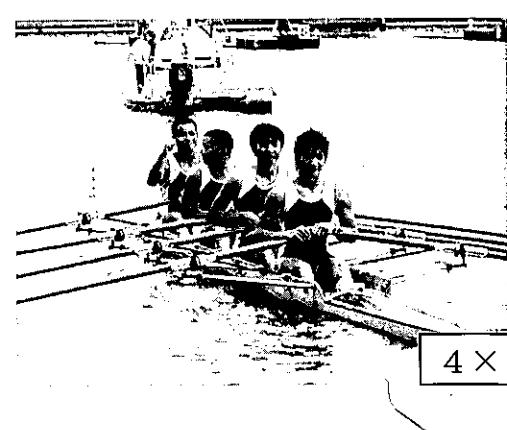
クルー	着順	2000m
愛知工業大	5	8' 00" 48
東海大	2	7' 09" 84
日本体育大	1	6' 50" 09
早稲田大	3	7' 10" 22
同志社大	4	7' 12" 74

☆初めてのインカレでとにかく見るもの全てが新鮮でした。結果は納得いくものではありませんでしたが、得たものがありました。この経験をこれからボート人生に活かしていくつもりです。

木下啓史(経 2)

☆初めての戸田でレースをして、とても良い経験になりました。試合としては残念な結果になりましたが、初めての戸田は楽しめて良かったです。

木下伸也(工 2)



・男子舵手なしペア

- S : 有木良輔(経 4)
- B : 濑川敏克(政 4)

<予選>

クルー	着順	2000m
同志社大	1	7' 27" 21
新潟大	2	7' 29" 85
松山大	棄権	
静岡大	3	8' 12" 31

<準決勝>

クルー	着順	2000m
富山国際大	2	7' 25" 45
龍谷大	1	7' 21" 08
同志社大	3	7' 27" 84
大阪市立大	4	7' 28" 65

☆準決勝、最後の最後でさされた。もっと攻めていく姿勢が必要だったと後悔している。技術、体力、精神力とともにインカレより強くなって全日で勝ちたいと思う。

有木良輔(経 4)



・男子ダブルスカル

- S : 森福将之(商 2)
- B : 田中克弥(商 2)

<予選>

クルー	着順	2000m
金沢大	4	7' 28" 18
早稲田大	2	7' 17" 18
東海大	1	7' 10" 29
山口大	5	7' 38" 34
同志社大	6	7' 51" 63
愛媛大	3	7' 18" 06

<敗者復活>

クルー	着順	2000m
大阪歯科大	2	7' 59" 98
愛知工業大	棄権	
愛媛大	1	7' 50" 64
同志社大	3	8' 19" 40

- ・男子シングルスカル
- 河合弘貴(経 4)

<予選>

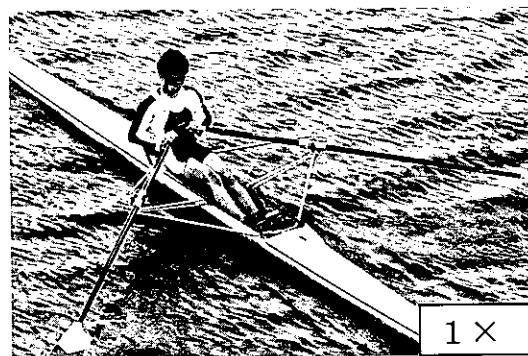
クルー	着順	2000m
大河原(成蹊大)	4	8' 16" 26
河合(同志社大)	3	8' 01" 13
山崎(東京経済大)	1	7' 53" 82
秋本(日本医科大)	2	7' 59" 38
飯田(金沢星稜大)	5	8' 22" 06

<敗者復活>

クルー	着順	2000m
新海(東京大)	3	8' 48" 12
牧野(南山大)	1	8' 21" 79
河合(同志社大)	2	8' 37" 54

☆ボート部での最後と決めた試合でしたが、結果は悔いの残るものでした。このリベンジはこの先の生涯で必ず果たします。

河合弘貴(経 4)



第86回 全日本選手権大会

(2008年 9月18日～21日 埼玉県戸田市戸田ポートコース)

・男子舵手付きフォア 総合5位

C:川渕智貴(経4)

S:千原第資(商3)

3:大沼茂彬(文3)

2:三谷大輔(工3)

B:川口正嗣(工4)

<予選>

クルー	着順	2000m
法政大	4	6' 53" 59
慶應義塾大	2	6' 48" 38
大阪大	3	6' 51" 46
埼玉県警察機動隊	6	7' 16" 36
同志社大	1	6' 38" 82
岐阜経済大	5	6' 54" 62

<準決勝>

クルー	着順	2000m
警視庁	3	7' 02" 04
戸田中央総合病院 RC	1	7' 00" 19
同志社大	4	7' 03" 46
日本大	2	7' 00" 50

<順位決定>

クルー	着順	2000m
中央大	4	6' 51" 88
警視庁	3	6' 44" 77
同志社大	1	6' 41" 15
早稲田大	2	6' 42" 47

・男子舵手なしペア

S:有木良輔(経4)

B:瀬川敏克(政4)

<予選>

クルー	着順	2000m
龍谷大	2	7' 14" 28
日本大	3	7' 20" 42
東京大	6	7' 43" 91
中部電力	1	7' 11" 32
一橋大	5	7' 31" 12
同志社大	4	7' 25" 98

<敗者復活>

クルー	着順	2000m
佐藤(同志社大)	3	7' 54" 82
橋本(トヨタ紡織)	1	7' 30" 93
細見(立命館大)	2	7' 44" 96

☆はじめてのシングルでのレース。全く敵いませんでした。レース以前に同じ土俵に立てていませんでした。自分自身を本当に恥ずかしいと思いました。

佐藤勇樹(社3)



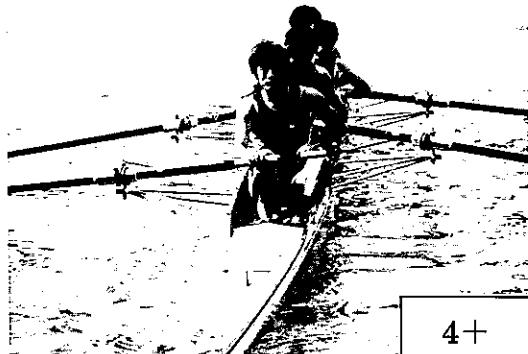
有木良輔(経4)

・男子シングルスカル

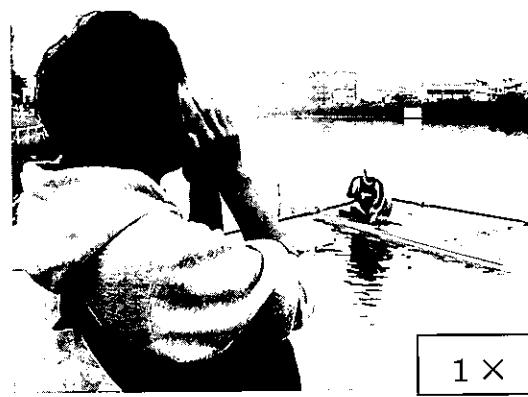
佐藤勇樹(社3)

<予選>

クルー	着順	2000m
鹿谷(関西電力美浜)	1	7' 36" 66
佐藤(同志社大)	4	8' 00" 94
积尾(埼玉県警察機動隊)	5	8' 12" 58
舟橋(名古屋大)	3	7' 57" 93
金子(中央大)	2	7' 49" 29



4+



1×



付添マネージャー(大澤)

第54回 びわ湖レガッタ

(2008年 9月28日 滋賀県立琵琶湖漕艇場)

・男子エイト

準優勝

C:川瀬智貴(経4)

S:今川達郎(経1)

7:鈴木良知(文情1)

6:畠田聖(文情1)

5:中村康治郎(商1)

4:加藤駿(経1)

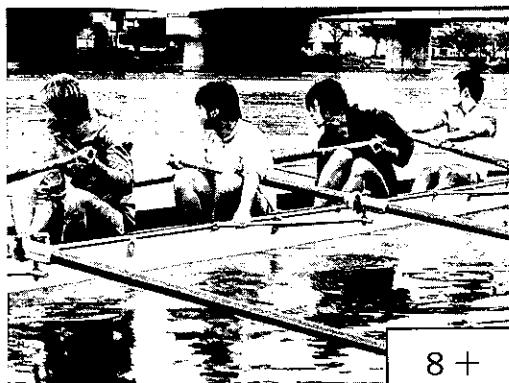
3:濱島昌輝(文情1)

2:大越郁弥(工1)

B:内藤毅人(文4)

<決勝>

クルー	着順	1000m
東レ滋賀OB	1	3' 08" 86
同志社大	2	3' 13" 35



8+



4回生



1回生集合

第49回全日本新人選手権大会

(2008年 10月17日~19日 埼玉県戸田市戸田ポートコース)

・男子舵手付きフォア

準優勝

C:福重太郎(工2)

S:園田真大(商2)

3:植田義之(商1)

2:打它晃(工2)

B:菊池修一朗(社2)

<予選>

クルー	着順	2000m
東京工業大	5	7' 49" 22
早稲田大	4	7' 33" 99
小樽商科大	6	8' 29" 71
龍谷大	2	7' 22" 04
東海大	3	7' 24" 05
同志社大	1	7' 19" 51

<準決勝>

クルー	着順	2000m
東海大	2	7' 12" 53
同志社大	1	7' 11" 29
立命館大B	3	7' 19" 33
早稲田大	4	7' 24" 26

<決勝>

クルー	着順	2000m
同志社大	2	7' 10" 04
立命館大A	1	7' 07" 11

龍谷大	4	7' 15" 91
東海大	3	7' 13" 90

・男子ダブルスカル

S:木下啓史(経2)

B:西本孝志(工2)

<予選>

クルー	着順	2000m
日本大A	1	7' 16" 42
金沢大A	5	8' 03" 66
同志社大	4	7' 30" 49
千葉大A	2	7' 29" 07
島根大	3	7' 29" 31

<敗者復活>

クルー	着順	2000m
千葉大B	3	7' 56" 68
伏見工業高校	1	7' 13" 17
同志社大	2	7' 31" 53
金沢大B	4	8' 42" 41

☆新人戦は自分にとって悔しい結果となりました。インカレで負け、決意を新たに臨んだつもりでしたが、まだ決意が甘かったようです。自分にとっての新人戦はこれが最後ですが、この悔しさを来年のインカレにぶつけたいと思います。

木下啓史(経2)

・男子シングルスカルA
木下伸也(工2)

<予選>

クルー	着順	2000m
守谷(東京経済大B)	3	8' 12" 03
須田(東京外国語大B)	5	9' 38" 02
木下(同志社大A)	4	8' 28" 85
池田(日本大C)	2	8' 03" 58
池田(関西電力美浜B)	1	7' 54" 57

<敗者復活>

クルー	着順	2000m
伊藤(東京工業大B)	3	9' 27" 87
瀧口(東京外国語大C)	1	8' 33" 62
木下(同志社大A)	2	8' 58" 96

・男子シングルスカルB
森福将之(商2)

<予選>

クルー	着順	2000m
吉本(京都大B)	3	8' 28" 50
森福(同志社大B)	6	9' 00" 41
青柳(東北大)	4	8' 28" 61
伊東(愛知工業大)	1	8' 11" 64
中野(東京工業大A)	2	8' 15" 80
河内(早稲田大)	5	8' 54" 61

<敗者復活>

クルー	着順	2000m
金森(美浜中学)	4	8' 48" 52
盛田(瀬田漕艇クラブ)	2	8' 18" 69
中野(東京工業大A)	1	8' 15" 08
森福(同志社大B)	3	8' 46" 19

・男子シングルスカルC

田中克弥(商2)

<予選>

クルー	着順	2000m
藤田(慶應義塾大)	2	8' 16" 94
佐々木(岐阜経済大B)	3	8' 22" 50
白谷(千葉大B)	棄権	
田中(同志社大C)	4	8' 43" 45
上野(中国電力)	1	8' 14" 03

<敗者復活>

クルー	着順	2000m
田中(同志社大C)	3	9' 04" 78
池田(日本大C)	1	8' 39" 10
大河原(成蹊大)	2	8' 59" 45



第43回京都レガッタ

(2008年 10月26日 滋賀県立琵琶湖漕艇場)

・男子エイト

C:川渕智貴(経4)

S:今川達郎(経1)

7:鈴木良知(文情1)

6:畠田聖(文情1)

5:中村康治郎(商1)

4:加藤駿(経1)

3:濱島昌輝(文情1)

2:大越郁弥(工1)

B:川口正嗣(工4)

<予選>

クルー	着順	1000m
京都大B	3	3' 15" 99
同志社大	4	3' 17" 72
瀬田漕艇クラブS	5	3' 26" 41
KR2	2	3' 08" 58
トヨタ自動車	1	3' 05" 52

<敗者復活>

クルー	着順	1000m
近畿大	6	3' 38" 73
瀬田漕艇クラブA	5	3' 23" 97
京都大B	4	3' 23" 54
京都大A	1	3' 14" 75
同志社大	3	3' 22" 68
瀬田漕艇クラブS	2	3' 18" 76

・男子ダブルスカル

総合6位

S:木下啓史(経2)

B:西本孝志(工2)

<予選>

クルー	着順	1000m
伏見工業高校	3	3' 40" 54
京都大B	6	4' 05" 49
瀬田漕艇クラブA	5	3' 54" 11
同志社大	4	3' 46" 44
JINZU-SC	2	3' 39" 99
龍谷大B	1	3' 34" 55

<敗者復活>

クルー	着順	1000m
京都大B	4	4' 01" 38
龍谷大B	2	3' 46" 45
同志社大	1	3' 40" 46
京都大A	3	3' 51" 61

<決勝>

クルー	着順	1000m
同志社大	6	3' 52" 24
京都RC	5	3' 45" 69
48年会京大	1	3' 26" 48
龍谷大B	2	3' 30" 38
JINZU-SC	3	3' 31" 31
伏見工業高校	4	3' 33" 98

・男子シングルスカルA
木下伸也(工2)

<予選>

クルー	着順	1000m
向井(京都大)	4	4' 24" 77
井原(瀬田漕艇クラブ)	3	4' 09" 82
薮田(京都大)	1	3' 50" 49
木下(同志社大 A)	2	4' 05" 97
田中(京都大)	棄権	

<準決勝>

クルー	着順	1000m
山浦(京都大)	4	4' 18" 19
木下(同志社大 A)	3	4' 09" 74
池内(伏見工業高校)	1	3' 54" 59
林(瀬田漕艇クラブ)	2	4' 04" 41

・男子シングルスカルB
森副将之(商2)

<予選>

クルー	着順	1000m
西野(京都大)	4	4' 27" 74
池内(伏見工業高校)	1	4' 02" 24
黒滝(京都大)	2	4' 03" 93
橋本(トヨタ紡織)	棄権	
森福(同志社大 B)	3	4' 16" 21

<準決勝>

クルー	着順	1000m
森福(同志社大 B)	3	4' 07" 82
野村(京都大)	4	4' 09" 94
黒澤(京都大)	1	3' 56" 07
鈴木(78RC 名古屋)	2	4' 07" 20

・男子シングルスカルC

田中克弥(商2)

<予選>

クルー	着順	1000m
田中(同志社大 C)	5	4' 16" 61
増成(龍谷大)	1	4' 00" 98
宇都宮(京都大)	3	4' 08" 35
鈴木(78R 名古屋)	4	4' 13" 50
桑島(京都大)	2	4' 06" 08

<準決勝>

第19回関西学生秋季選手権

(2008年 11月7日~9日 兵庫県加古川市加古川大堰ボートコース)

・男子エイト

総合3位

C: 川渕智貴(経4)

S: 今川達郎(経1)

7: 鈴木良知(文情1)

6: 畑田聖(文情1)

5: 中村康治郎(商1)

4: 加藤駿(経1)

3: 川口正嗣(工4)

2: 大越郁弥(工1)

B: 濱島昌輝(文情1)

・男子舵手付きフォア

優勝

C: 福重太郎(工2)

S: 園田真大(商2)

3: 植田義之(商1)

2: 打它晃(工2)

B: 菊池修一朗(社2)

<予選>

クルー	着順	2000m
同志社大	1	6' 43" 18
京都大医学部 A	4	7' 24" 27
岡山大「桃太郎」	2	6' 58" 85
近畿大「絆」	3	7' 02" 68

<準決勝>

クルー	着順	2000m
近畿大	3	6' 33" 38
同志社大	1	6' 20" 30
神戸大 B	2	6' 31" 72

<準決勝>

クルー	着順	2000m
神戸大 A	3	7' 02" 47
同志社大	2	6' 58" 56
京都大	1	6' 52" 89
大阪市立大	4	7' 19" 74

<決勝>

クルー	着順	2000m
京都大	1	6' 27" 17
同志社大	3	6' 32" 19
大阪大	4	6' 35" 56
関西大	2	6' 29" 26

<決勝>

クルー	着順	2000m
龍谷大	2	6' 55" 45
同志社大	1	6' 50" 53
神戸大	4	7' 15" 98
山口大	3	7' 02" 63

・舵手なしペア

優勝

S: 三谷大輔(工3)

B: 大沼茂彬(文3)

<決勝>

クルー	着順	2000m
滋賀大経済	除外	
龍谷大	2	7' 32" 99
同志社大	1	7' 12" 85
大阪工業大	3	7' 45" 15

☆今回、三谷と組んだ 2-で優勝して、来年の 8+に繋げたいと思って臨んだ試合だったので、この秋に結果を出せたのは良かったと思っています。

大沼茂彬(文3)

・男子ダブルスカルA

総合 6位

S: 木下啓史(経2)

B: 西本孝志(工2)

<予選>

クルー	着順	2000m
岡山大B	2	7' 45" 10
同志社大A	3	10' 25" 23
京都大B	棄権	
大阪市立大B	1	7' 16" 23

<敗者復活>

クルー	着順	2000m
岡山大A	3	8' 10" 85
茨城大B	2	7' 54" 05
同志社大	1	7' 42" 86

<準決勝>

クルー	着順	2000m
同志社大	2	8' 26" 74
甲南大B	3	8' 52" 36
龍谷大A	1	8' 17" 51
徳島大B	4	9' 08" 42

<順位決定>

クルー	着順	2000m
同志社大	2	7' 20" 07
甲南大A	3	7' 28" 10
茨城大A	1	7' 19" 71
茨城大B	4	7' 28" 70

・男子ダブルスカルB(同志社艇友会)

S: 有木良輔(経4)

B: 瀬川敏克(政4)

<予選>

クルー	着順	2000m
神戸大	1	6' 54" 93
同志社艇友会	2	7' 14" 06
追手門大	4	8' 19" 28
茨城大B	3	8' 05" 16

<敗者復活>

クルー	着順	2000m
山口大D	2	8' 27" 13
同志社艇友会	1	7' 34" 67
大阪市立大B	3	8' 43" 01

<準決勝>

クルー	着順	2000m
同志社艇友会	3	7' 55" 20
大阪市立大A	1	7' 48" 85
茨城大A	2	7' 49" 34
茨城大C	4	8' 21" 99

・シングルスカルA

優勝

千原第資(商3)

<予選>

クルー	着順	2000m
千原(同志社大A)	1	7' 34" 39
上月(甲南大F)	3	8' 22" 09
井上(愛知工業大B)	2	8' 03" 64

<準決勝>

クルー	着順	2000m
木田(大阪市立大D)	3	8' 09" 63
坂口(大阪市立大B)	4	8' 29" 63
千原(同志社大A)	1	8' 01" 26
森下(同志社大C)	2	8' 08" 04

<決勝>

クルー	着順	2000m
田中(大阪市立大A)	3	7' 46" 53
土山(愛知工業大A)	4	7' 50" 62
村上(岡山大)	2	7' 44" 78
千原(同志社大A)	1	7' 34" 06

・シングルスカルB

5位入賞

佐藤勇樹(社3)

<予選>

クルー	着順	2000m
佐藤(同志社大B)	2	7' 49" 93
長澤(追手門大B)	3	8' 29" 44
田中(大阪市立大A)	1	7' 44" 87
稻垣(甲南大E)	4	8' 32" 57

<敗者復活>

クルー	着順	2000m
小田(徳島大)	2	8' 56" 20
佐藤(同志社大B)	1	8' 19" 03

<準決勝>

クルー	着順	2000m
土山(愛知工業大)	1	8' 06" 34
増成(龍谷大A)	4	9' 01" 17
一色(徳島大A)	3	8' 19" 52
佐藤(同志社大B)	2	8' 16" 50

<順位決定>

クルー	着順	2000m
木下(同志社大C)	4	8' 21" 22
佐藤(同志社大B)	1	7' 48" 35
上田(龍谷大B)	3	7' 57" 39
佐藤(山口大)	2	7' 53" 43

・シングルスカルC

総合8位

木下伸也(工2)

<予選>

クルー	着順	2000m
佐藤(山口大)	1	8' 02" 51
川島(甲南大 A)	4	8' 30" 18
中村(大阪市大 D)	3	8' 11" 20
木下(同志社大 C)	2	8' 04" 46

<敗者復活>

クルー	着順	2000m
森福(同志社大 D)	2	8' 29" 53
木下(同志社大 C)	1	8' 15" 72
北野(関西学院大)	3	8' 43" 00

<準決勝>

シングルスカル A(千原)の準決勝をご参考下さい。

<順位決定>

シングルスカル B(佐藤)の順位決定をご参考下さい。

・シングルスカルD

森福将之(商2)

<予選>

クルー	着順	2000m
小嶌(大阪市大 C)	2	8' 09" 45
森福(同志社大 D)	3	8' 18" 40
北野(関西学院学)	4	8' 36" 63
一色(徳島大 A)	1	7' 53" 71

<敗者復活>

シングルスカル C(木下)の敗者復活をご参考下さい。



~2009年シーズンに向けて~

このページでは11月16日の総会で発表いたしました、現役からの2008年シーズンの反省、2009年シーズンに向けての目標を載せたいと思います。先輩方に現役の現状を知る機会となっていましたら幸いです。

主務 今関将太

○チーム目標

対校クルー(8+) ⇒ インカレ決勝進出

○目標タイム

対校クルー(8+) ⇒ 6:00:00

※参考【2008年 8+インカレ決勝タイム】

1	日本大学	01:24.6	02:52.0	04:22.0	05:50.2
2	仙台大学	01:25.3	02:55.7	04:25.5	05:54.1
3	早稲田大学	01:24.5	02:55.5	04:28.5	06:00.4
4	東北大学	01:25.9	02:57.5	04:31.2	06:04.4
5	東京大学	01:27.6	02:58.5	04:30.3	05:59.8
6	京都大学	01:25.9	02:57.4	04:30.6	06:00.2
7	名古屋大学	01:28.9	03:00.5	04:33.3	06:03.2
8	慶應義塾大学	01:29.5	03:02.5	04:37.4	06:08.8

○目標エルゴ 2000m タイム

トップ8人平均 ⇒ 6:35:00

※参考①【他大学 2008年インカレ 8+ クルー平均値】

日本大学(優勝) ⇒ 6:36:00 (最高19、最低45)

仙台大学(2位) ⇒ 6:31:00 (最高24、最低44)

※参考② 【同志社クルー 2007-2008 エルゴ 2000m ベスト比較】

	2008		2007	
4+	氏名	TIME	氏名	TIME
S	千原	06:34.5	千原	06:40.0
3	川口	06:44.7	大沼	06:42.4
2	園田	06:42.3	末廣	06:34.0
B	植田	06:33.0	菊池	06:53.5
	平均	06:38.6	平均	06:42.5
4-	氏名	TIME	氏名	TIME
S	三谷	06:48.9	三谷	06:48.9
3	大沼	06:32.2	川口	06:44.7
2	打它	06:33.3	津村	06:53.0
B	菊池	06:45.0	有木	07:05.5
	平均	06:39.8	平均	06:53.0

※参考③ 【現在のエルゴ 2000m ベストタイム】 ⇒ 次ページ

○2008年シーズンを振り返って

【弱点】

- ①スタートダッシュの爆発力 ※4+ 第1クォーターで日大に3秒差
- ②ラストクォーターの爆発力 ※仙台大学のようなギアチェンジ
- ③メンタル面、連戦でのパフォーマンス低下

【勝負できた点】

- ①コンスタントの艇速 ※他大学に比べ後半も艇速を保てていた
- ②予選に合わせたコンディションの調整 ※4+ 予選全体1位
4- 予選全体3位

【エルゴ 2000mT.T. ベスト表 (2008/12/21 現在)】

順位	名前	学年	サイド	TIME
1	大沼茂彬	3	B	06:32.2
2	植田義之	1	B	06:33.0
3	打它晃	2	S	06:33.3
4	畠田聖	1	B	06:34.3
5	千原第資	3	S	06:34.5
6	園田真大	2	S	06:42.3
7	菊池修一朗	2	B	06:45.0
8	三谷大輔	3	S	06:48.9
9	木下伸也	2	B	06:50.1
10	佐藤勇樹	3	B	06:51.4
11	西本孝志	2	B	06:52.5
12	木下啓史	2	S	06:55.9
13	加藤駿	1	S	07:04.3
14	中村康治郎	1	B	07:06.6
15	森福将之	2	B	07:07.1
16	田中克弥	2	B	07:11.2
17	濱島昌輝	1	B	07:17.6
18	大越郁弥	1	S	07:36.5

全体平均タイム ⇒ 06:53.1

トップ8人平均タイム ⇒ 06:37.9

2008年度現役会計報告

(平成19年11月1日～平成20年10月31日)

◆収入の部◆

摘要	20年度収入(予算)	20年度収入(決算)	予算比較	21年度収入(予算)
前年度繰越金	¥779,322	¥779,322	¥0	¥1,486,14
現役負担金	¥9,760,000	¥9,780,000	¥20,000	¥9,820,00
寄付金	¥2,800,000	¥2,735,000	¥-65,000	¥2,500,00
学校からの寄付金	¥1,000,000	¥1,196,000	¥196,000	¥1,100,00
受取利息		¥1,139	¥1,139	
特別収入	¥30,000	¥5,000	¥-25,000	¥30,00
合計	¥14,269,322	¥14,496,461	¥127,139	¥14,936,14

現役負担金は漕手が部費として月3万(新入生は5000円から始まり7月に15000円、9月から3万円になります。)に加え、クラブバイト代(アルバイト+かしつぶり補助)の116万円の合計です。
大学からの寄付が増えましたのは、シングル購入の補助金9万円を頂いたからです。

◆支出の部◆

摘要	20年度支出(予算)	20年度支出(決算)	予算比較	21年度支出(予算)
合宿費	¥7,000,000	¥7,138,619	¥138,619	¥7,200,00
情宣費(勧誘費)	¥600,000	¥395,671	¥-204,329	¥500,00
試合費	¥4,000,000	¥4,104,165	¥104,165	¥4,200,00
用具購入費	¥800,000	¥814,846	¥14,846	¥800,00
分担金支出	¥50,000	¥0	¥-50,000	¥50,00
記念費	¥50,000	¥219,248	¥169,248	¥200,00
連盟費	¥250,000	¥81,600	¥-168,400	¥100,00
什器備品費	¥150,000	¥126,367	¥-23,633	¥150,00
特別支出	¥300,000	¥129,800	¥-170,200	¥200,00
次期繰越金	¥1,069,322	¥1,486,145	¥416,823	¥1,536,14
合計	¥14,269,322	¥14,496,461	¥227,139	¥14,936,14

合宿費には、生活にかかるすべてのお金のほかに、消耗品費、資料費、手数料、事務費、涉外費が含まれる生活費などが挙げられます。

1回生のための分担金支出が0円なのは、今年も試合の日程と重なり、フレッシュマンズキャンプに参加できなかつたためです。

用具購入費にはシングルスカル購入費75万6千円が含まれます。

昨年より勧誘費の支出が増えたのは、パンフレットの質向上と増刷、看板やプレートの制作費、合宿所の掃除と飾り付けに予算を使ったからです。

今年度もご指導、ご協力の程、宜しくお願ひいたします。

会計：三谷 大輔

現役 特集ページ

今回は、現役部員を動物占いで診断してみました。

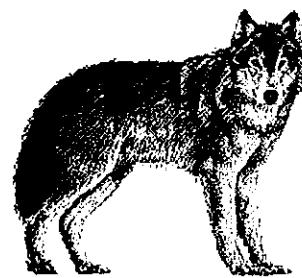
どこまで当たっているのでしょうか…☆

(参考：弦本将裕『血液型別動物キャラナビ』東京：日本文芸社、2000. 5)

～表の見方～

名前	適応度	部員からの評価
適応度	○…項目にあった性格	△…まあまあ項目にあった性格
	×…他のどうぶつでは？	

狼



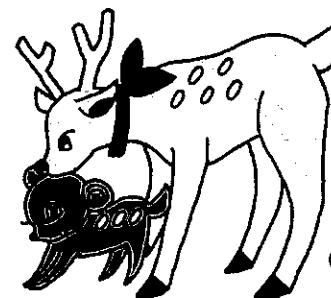
- 一人だけの時間と空気が好き
- 自分しかできないことで一番を目指す
- 唯我独尊

- 言葉足らずのところがある
- 気持ちは頭より態度に出る

2回生

打它晃	○	筋肉美No1！一度、はまつたものはずっと熱中しています。
菊池修一朗	△	田舎から出てきた髭男爵。
園田真大	△	メス大好物。気がきくポッチャリ系。

こじか



●好奇心旺盛

- 愛情が確認できないと不安になる
- 電話魔、かけてくる回数が多い

●感情を隠しきれない

●愛するとは、甘えることだと思っている

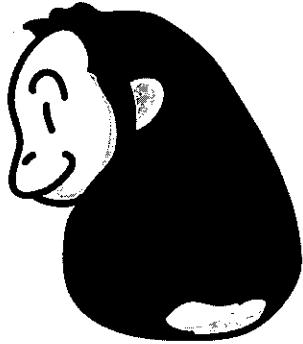
2回生

大澤成美	○	男心を知っていて、ボディタッチはお手の物です。
------	---	-------------------------

1回生

中村康治郎	△	大人な発言で行動が光ります。
-------	---	----------------

猿



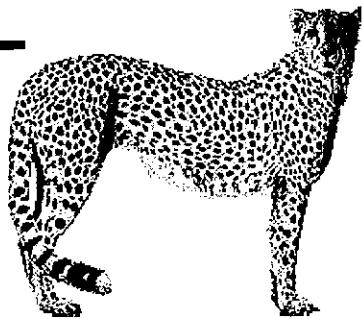
2回生

森福将之	△	バナナが大好き。朝バナナにはまっていて、合宿所の消費量はNo1です！
------	---	------------------------------------

1回生

植田義之	△	怖そうに見えます。(笑) でもホントは優しいです。
------	---	---------------------------

チーター



- 成功願望が強い ●プライドが高い
- 好奇心がきわめて強い
- 通しかいかない焼肉屋を選ぶ
- プラス志向

2回生

今井文美	×	自分の興味があるものはすごくイキイキした目をして話します。
------	---	-------------------------------

1回生

畠田聖	×	プライドが高いというよりは負けず嫌いという言葉がふさわしいです。
-----	---	----------------------------------

川原彩	○	彼女にかかれば男はメ・ロ・メ・ロ。
-----	---	-------------------

ペガサス

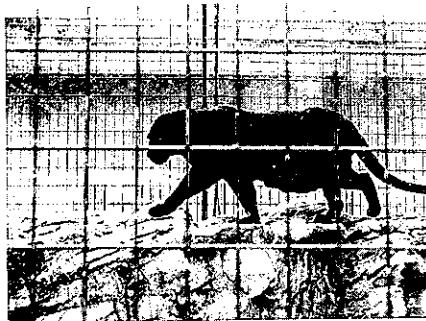


- ピンとくる感性はすごい
- わがまま
- 束縛される環境に弱い
- 豪華絢爛
- その気になれば集中力がすごい

2回生

池田ひかる	○	女性としてすごく憧れる存在です。
-------	---	------------------

黒ひょう



- 正義感や批判精神が強い
- 傷つきやすく、すぐに落ち込む
- 喜怒哀楽が顔や態度に出やすい
- オシャレ
- 主語が多い

3回生

三谷大輔	×	どちらかというと表情を変えずに、時折毒を吐きます。
岡歩美	△	とにかく良く食べます！なのにスリム☆いつも笑顔で太陽みたいな存在です。

2回生

西本孝志	○	強がっていても本当はナーバスな性格なんです。
------	---	------------------------

1回生

川島希紗	×	アニメ声の変わった子です。
------	---	---------------

ライオン



- 徹底的にこだわる
- 言ったことをよく覚えている
- 王様扱いに弱い
- 決して弱音を吐かない
- 甘えん坊

3回生

佐藤勇樹	△	礼儀を重んじ、人を想う。
------	---	--------------

2回生

今関将太	○	彼はすごく綿密に計画を立てます。そして照れ屋さんです。
------	---	-----------------------------

1回生

大越郁弥	○	落ち着いています。そして前髪が長いです。笑
------	---	-----------------------

虎



- 自由、平等、博愛主義
 - 悠然とした雰囲気
 - 即断即決はしない
 - 笑いながらきつい一言が言える
 - 自分のシマは死守する

3 回生

中川裕紀奈 ○ とても言葉巧みに話すので笑いが止まりません！おそらくボキャブラリーは部内1です。ピカ1です。

2 回生

木下伸也	○	ゆったりとした空気はまさにボート部内の妖精そのものです。
田中克弥	△	ハジけたキャラはある意味、自分の「シマ」なのかもしれません。
福重太郎	△	優柔不断な彼は、相談で答えを導いても悩みます。なのに、影響されやすい。

カラコル



- 一見おとなしい人
 - 計算高く疑い深い
 - 長期展望に立てる
 - 「一生モノ」の言葉に弱い
 - サービス精神旺盛

3回生

千原第資 ○ 一見クールに見えますが、実はユーモアたっぷりです！

2回生

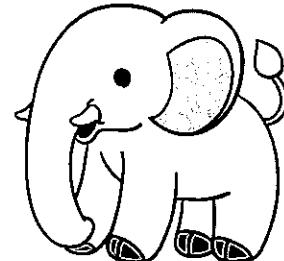
奥知里 ○ 内に秘めるサービス精神は、お酒を飲むと暴れだします。

1 回生

濱島昌輝 ▲ ハマシマヌサキ略してハマサキ

上田菜保子 ▲ 彼女の相槌は神業です。すぐに的を得た返答を返します。

٤٧



- 常に何かに打ち込んでいたい
 - やると決めたら最後までやる
 - 根回しは基本
 - 地獄耳なのに目の前の人との話は聞かない
 - 地図は見ない

1回生

伊豆川奈美 × ハニカミ女王

ひつじ



- 寂しがり屋
 - 何事も丁寧
 - はっきりとものをいえる
 - 約束は守る
 - お金にはきっちりしている

3回生

大沼茂彬 ○ 基本寂しがり屋だと思います。ポートに対しては誰よりも熱く接するところも、ときどき、的外にお發遣さる時がある。(笑)

4/23/2012

小野麻衣子	△	テキハキとなんでもこなしますが、こく稀にリッカリ八兵衛です (笑)
2回生		
木下啓史	○	自分の意見をいつも持っています。PSPを売っては、また買いと不用謹な行動をとることも。

1回生

加藤駿 ○ 寂しがりで、常にだれかといふイメージがあります

相性診断

各部員を動物に例えてきましたが、ここで相性占いをしたいと思います。
この結果がクルーの良し悪しの判断基準になる日はくるのでしょうか…(笑)
数字が高いほど相性が良いものとなります。

	ライオン	チーター	ペガサス	ゾウ	猿	狼	コアラ	虎	黒ひょう	ひつじ	たぬき	こじか
ライオン	4	2	3	3	4	5	5	4	5	0	2	1
チーター	2	1	2	5	2	1	1	1	0	1	4	5
ペガサス	3	3	5	3	0	2	3	1	1	4	5	2
ゾウ	5	5	4	1	3	3	1	2	4	3	0	2
猿	1	2	4	1	5	2	4	1	5	3	2	4
狼	0	5	1	3	3	1	4	2	3	5	5	1
コアラ	1	0	5	4	1	4	3	5	3	4	3	4
虎	5	4	2	0	1	1	3	4	4	5	5	2
黒ひょう	5	1	3	3	4	3	1	1	3	3	0	4
ひつじ	1	1	0	5	2	5	1	3	2	4	4	4
たぬき	2	3	2	2	2	4	5	4	1	0	4	2
こじか	4	5	0	1	1	2	1	2	1	4	4	5

艇友会 特集ページ

今年は現役特集に加え、艇友会特集ページを設けました。現役からの情報発信だけでなく、先輩方の熱い気持ちも是非掲載したいと思い、今回この企画を立ち上げました。今回3名の先輩方より寄稿文のご協力をいただきました。ご協力いただいた先輩方に、この場を借りて、厚く御礼申し上げます。



MEXICO 紀行

「40年待っていてくれた WILD ROVER との感動の対面」

S45年卒 清水正俊

この度、還暦を機に「あの時二十歳の思い出」であるメキシコ・ソチミルコの五輪ボートコースと五輪関連施設、当時めぐった観光コースを夫婦で見に行こうと「MEXICO 思い出ツアーア」を企画した。メンバーは五輪参加メンバーのうち新井(BOW)、村井(7番)、清水(整調)、各夫婦の計6名である。そして1968年のオリンピックから丁度40年経過した2008年のMEXICOへ向かった。

スケジュールは

- 10月16日 伊丹→羽田→成田→ヒューストン→MEXICO CITY
- 10月17日 MEXICO 観光(当時巡ったコース・歴史地区・ティオティワカン遺跡)
- 10月18日 オリンピック関連施設→ソチミルコ・五輪ボートコース
- 10月19日~21日 リゾート地カンクン・チ첸イツア遺跡
- 10月22日~23日 カンクン→ヒューストン→成田→羽田→伊丹(帰国)

ガイドによるとMEXICO CITYは1968年当時から比べ大きく変化していた。人口は1968年の約1800万人から2008年には2300万人へ大幅に増加。五輪開催後に、一気に先進国入りを果たした日本のようにはなれず、産油国にも関わらず経済は低成長、そして経済発展の恩恵から無縁で食い詰めた人たちがcityに流れ込んできた。よって治安が悪化し今では昔のMEXICOのようなんびりしたところはまずないとのこと。また夜間の外出、流しのタクシーは厳禁と厳命される始末。そして周りの山々の頂まで違法建築の家々、そして車・車の大渋滞、車が止まるたび群がる売り子、売り子…貧富の差は拡大しているようだ。

17日の市内観光は後日談として、40年振りの「国立人類博物館」と特に「ティオティワカン・ピラミッド」は世界遺産にもなり圧巻…だった。

18日、五輪関連施設を巡った。半分冗談で私の40年前の五輪選手のIDカードを持参した。「そんなのよう持ってたな」と冷やかされたが。まずスタジアムへ、入場行進

まで随分待たされた広場はまだあった。スタジアムの外見はほとんど改修されていなかっためくすんだ感じ、中へは入れなかつた。聖火ランナーは五輪史上初の女性だった。

そして当時の選手村へと向かう。当時の選手村は公団住宅として存在した。建物はそのままだつたが周りは大きく変わりセキュリティが厳しく、敷地内に入れなかつたこともあり、当時の面影は建物のみの確認であった。敷地の周りは、木々がうつそと生い茂り内部は窓いしれなかつた。

聞くところによると、治安が悪く外部侵入者の強盗が頻繁に発生し入口でのセキュリティが強化されているとのこと。IDカードを見せての交渉も、事前申請がないとダメ、とのことであった。40年前選手村到着が夜になり、関係者に、選手村内のレストランへ案内された時「アキ！」と言われた。新井が(当時 第二外国語はスペイン語だった)「ここやという意味や」と言ったことをよく覚えている。本人は忘れたと言つてゐたが…そのレストランは不明、それでもその他当時の選手村入り口付近にあった看板、メニュー、練習用トラックはかろうじて残っていた。

いよいよソチミルコへ、ここはいわゆる水郷地区、そもそも MEXICO は湖に浮かぶ都市で、その形成経緯が一番わかりやすく残る処のこと。

隣が目的の五輪ボートコースで、この水郷を行き来するボートの幌馬車のような綺麗な屋根が當時見えており「いつか乗りたい」と思っていたこともあり、乗ることにした。まさしく日本の潮來、水郷めぐりの船とよく似ていた。屋根が違うだけ。船頭が一本の長い棒(さお)でゆっくりゆったりとボートを操る。屋根は当時、生花で飾られていたが今はペンキで派手に塗られていた。いろいろな物売りのボートが近づく、マリアッチの楽団ボートが近づくと 150 ペソで 2 曲をリクエスト「シェリト・リンド」と「ラ・バンバ」。ビールを飲みながら結構楽しい船遊びであった。

さていよいよ目的地の五輪のボートコースへ向かう、近隣なのに道路が大渋滞、15 分で行けるところを 1 時間もかかる。当時ここに来るのに当たり「コース」がどうなっているかよくわからなかつた。入口を開きコースへ、(当時の入口より南側に移動していた)スタンドの横から入る。見えた！あの時のままのコースがあつた。丁度カヌーのレース中だった。

なんと楽団付きで応援している。この楽しみ方は何だ。

コースは戸田コース並の整備がされていた。ブイは整然と並び、木々の大半の糸桟が 40 年の間に大きく成長し、重厚な落ち着きのある雰囲気のコースになつていていた。また少し肌寒く、何ともいえぬ透明感が辺りを包んでいた。そしてスタートの付近はかすんで見えない。

艇庫へ向かう、ある、ある、空いている艇庫に 8、4、2、スカル等が置いてある。また MEXICO ナショナルカラーのオールが見える。村井が大きな声で叫ぶ。「Wild rover があるぞ！」「なに！」15 番艇庫にそれはあつた。格子シャッターが下りていた

が、中が見える。上段に飴色のあの船が見えた。「wild rover IV」の文字がかすかに読み取れる。これはなんということか。まさかここにそのままあるとは。当時は 16 番艇庫でペルー・ポーランド・オランダと同居していた。なんとその隣に！

当初 wild rover IV のことは全くと言って頭にはなかつた。

ただもう一度あのソチミルコに行きたい、それだけだった。それが！

40 年前のことがよみがえつてきた。

我々を初優勝に導き、そして MEXICO に連れてきてくれたあの艇だ。

感動で 3 名思わず声を失い、涙が出てきた。女房連中ももらい泣き。

管理責任者が現われ、経緯を説明してくれた。68 年に五輪終了後にメキシコのいわゆる体協に売却された。その後モントレー工科大学に払い下げられ、今に至るとのこと、ほとんど使われていないがきっちり管理はしてあるとのこと。大事にされていたのだ。普通なら廃棄されてもおかしくないのに。改めて工科大学に感謝したい。ガイドが「この後をきっちりつなぎます」と言ってくれ、新井が窓口になることになった。管理責任者にも ID カードを見せると同様に感激してくれた。同志社大学ボート部としても感謝の念を伝えて欲しいと思う。

近くにいた学生が「明日なら監督がここに来るが予定は？」と言ってくれた。「早朝カンカンに向かうので残念だが、よろしく」とお願いした。

そしてコース周回道路へ回り 1000m 付近まで行く。思わず 3 名で出た言葉。「ああこの付近で もう死んでいたな」そう、ここから 2200m 高地特有の低酸素と気圧の影響を一気に受け、ゴールまで体も動かず、呼吸もままならず地獄だった。予選、敗者復活と続き今日この 18 日は、奇しくも 40 年前の 10 月 18 日、順位決定戦でとどめを刺された日でもある。なんという符号か。

今から思えばあのレースへの臨み方は無茶苦茶だった。期限ギリギリの代表派遣決定、また wild rover 到着も港湾ストで大幅遅れ、実質 10 日余りの調整、当然高地順応も出来ず、不安のまま本番に突入。本来の力の半分も發揮できなかつた。

そして帰国後の敗戦バッシングとお決まりの戦犯探し。このイライラは誰にもぶつけられなかつた。言えば言い訳になる。ただ自分の胸に仕舞い込むのみだった。新井が出発前に送ってくれた東京五輪代表クルーのものが題材にした小説 虫明亜呂無著「ペケレットの夏」が重なる。

ソチミルコを後にして水泳会場へ向かう、ここでは ID カードが威力を発揮し入場 OK、改装されていないため、あちこちガタがきている感じ。

そして今日の 1 日は終わった。その後は食事へ、途中さつきのソチミルコの話でまた盛り上がり新たな感動が。女房殿たちも含め共有する。

「来てよかつたね。」

今日のこの感動が全てを一気にきれいにしてくれた。胸のどこかにくすぶつっていたあの時のこだわりまでも。

改めて思う「wild rover IV」を。我々が初めて秩父宮杯という栄冠を初めて掴んだ艇、そしてオリンピック出場という「栄光」と敗北の「屈辱」を持つ艇、そして我々の人生でキラリと光るモノを与えてくれた艇。

これらを秘め、ここ MEXICO で 40 年間我々が来るのをただじっと待っていてくれた。

この屈辱を果たすため 69 年の新メンバーには、挫折している暇はなかった。「屈辱をバネに」これが我々の心に秘めた合言葉だった。そして 2 連覇でうっぷんを晴らした。

我々の遙か上をいく各国のレベルを眼の当たりにしアメリカのパワー・ソ連のキャッチ・西ドイツの引き・オーストラリアのキャッチ前ギャザーの素晴らしいストロークを脳裏に焼きつけ rowing の理想を追い求めた。「もう井の中の蛙ではない」。そして練習方法も一から見直した。

チンタラ・ハードから、短時間でハードに、ノーウークなし。

練習メニューはコーチと目的を明確にし、理解し、納得し、熱心に、本当に 1 年間よく練習した。目指す形は、はっきりしている。その結果レベルは一気に上がった。基礎体力もローリング・スキルもスピードも精神力もクルーへの信頼も。そして IV 世の後を受けた「新 Wild rover V」もよく走ってくれた。7 番の村井と「オールを浸けるのが怖いくらい」と言わしめるくらいのスピードでエイトの中のエイトだった。整調ペアのポジションで足の裏が、後ろの 7 本のブレードワークを感じ、スピードを感じ、クルーの Rowing 状態が手に取る如く感じるまでにいたった。

全レース敵なし。圧倒的な強さだった。

やがてメルボルン大を迎えた全日本選手権が始まった。

そこで全てを実現した。

そして 1969 年 1 年限りの伝説は終わった。

どうか現役の諸君も感じてほしい我々エイトへの思いを

ここに「MEXICO 紀行」は終わる。

アディオス・MEXICO、グラーシャス MEXICO

「私はこの時二十歳だった、だがこの年齢が一生のうちで一番美しい年齢だと誰にも言わせまい」

ポール・ニザン著「アデン・アラビア」の冒頭より抜粋
難解な小説で、ほとんど理解出来なかつたが、何故かこの冒頭だけは明確に覚えている。

2008 年 10 月 25 日

清水正俊（参加者）昭和 45 年卒

新井喜範・村井富雄・清水正俊と女房殿たち



↑ソチミルコのボートコースを背景に、左から清水さん、村井さん、新井さん



↑一番上段の艇が Wild rover IV



『懐古』

S39年卒 加野豊司

何時だったか記憶にはないが、突然練習のメニューの中に、1時間ロングが入った。「誰が決めたんや。無茶をしやがる。普通レースは6分か7分やろそんな1時間も漕げるか。」これが初めてメニューを見た時の感想であった。無理だと言うマイナス思考が過った。

1時間ロングがある日は、前の日から緊張していて、当日に至ってもロングのメニューが終わるまで緊張しっぱなしであった。苦しさに立ち向かってゆくにはどうしたらよいか自問した。そして「苦をもって快とすればよい」と言う結論に至った。そして、そのことを自分に言い聞かせてきた。マイナスをプラス思考に変えたのだ。そして、その1時間ロングの入っているメニューを耐えながら、「？」数年熟した。人間の身体というものは恐ろしく強く丈夫にできているものだ。「やれば出来る」と感心していくものである。苦しさが消え、爽快な気分になるのだ。ボート版、ランナーズ・ハイである。それ以降「苦をもって快とする」が私の座右の銘となり、卒業して社会生活を通して、現在も続いている。その練習で苦しかった経験を懐古して、詩に書いて、現役諸君に送ることにした。

<一時間ロング>

- 一. 我が艇は瀬田の唐橋漕ぎぬけて 波間に飛沫と消えてゆく
- 二. 行くはびわ湖大橋、帰りは南郷 ロングにパドルで水面を突き進む
- 三. モーター艇が付きまとい、足だ蹴りだの叱咤がとぶ
苦をもって快とせよと言い聞かせ
- 四. ハーフ・オーバーの掛け声高らかに 連呼と足蹴りで奮い立つ
夢は唯、三つ葉のクローバー 戸田で風に靡くを

誰かが言っていた言葉だが、男は強くなければ生きていけない。しかし、優しくなければ、生きていく資格がない。肝に据えて、学生生活を送ってほしいのである。もう1つ加えるのならば、礼節と謙虚さを、忘れないでほしい。

『至福の時』

S45 新井喜範

対抗エイトを漕いだことのある人なら1、2回は体験したことがあるだろうと思われる、ある素晴らしい時間帯があるのだが、あまり語られることがないので少し書いてみます。

エイトを漕いでいると年に1、2回それも30秒~1分間程度のごく短い時間ですが、素晴らしい境地に遭遇することがあります。「黄金の時」という人もいますが、私は「至福の時」と呼んでいます。その時はいきなり訪れ、それまで艇を早く走らせようと怒鳴りあっていた漕手や指示を出していたコックスまでもが黙り込んで、その境地に入り込み、身を任せます。

体験した人でないと到底理解できないその境地とは、多分、艇と漕手、コックスが一体となった状態、艇を走らすためのネガティブなものが一切なくなった状態ではないかと思われます。漕いでいてパーカークトだなという感じ、あるゾーンに入ったなという感覚です。

現役諸君は「2011年 戸田 エイトで勝つ」を目標に、今年からエイトでインカレに挑戦すると聞いています。ボート競技の最大の喜びはもちろん勝利することにあります。

いいプランを練り、いい練習を重ね、目標を達成されんことを願っております。そしてそのプロセスの中で必ずや「至福の時」に遭遇することでしょう。

戦わんかな、時まさに今、雄々しく起て 同志社！

他大学 寄稿文

京都大学ボート部

この度は部報「力漕」の発刊、誠におめでとうございます。ならびに、寄稿のご依頼を頂きましてありがとうございます。

関東勢が優位に立っているといわれている昨今のボート情勢ですが、昨シーズンでは日本大学に圧倒的な力を見せ付けられる結果となりました。インカレでの優勝を目指す我々にとって大きな壁となるこの日本大学には、例年通りの取り組みでは敵いません。そのため、京都大学ボート部では改革を施し、来シーズンに向けて大きくステップアップを目指しております。貴部でもまた来シーズンに向けて様々に取り組んでおられることと思います。

ただ、この取り組みというのは自分たちの中だけで完結することの出来るものではありません。効果を確かめる場や、ライバルが必要です。幸い、この瀬田水域では貴部を始めとして、龍谷大学、立命館大学、滋賀大学など全国レベルでも戦っている部、さらには社会人の東レ滋賀のボート部もいらっしゃいます。同じ水域で練習するボート人としてお互い刺激し合い、切磋琢磨して瀬田水域のレベルを上げていきましょう。それが双方の目標達成への一つの近道になるはずです。

1年間は長いようであつという間に終わってしまうのですが、来年の今頃にはシーズンを振り返って、お互いに充実したシーズンであったと思えるよう願っております。

主将 黒滝 啓介

大阪大学漕艇部

この度は貴部の部報「力漕」の発行、誠におめでとうございます。

さて、これまで我々関西のボート勢は戸田の地で全国の強豪校を倒すために懸命の努力をしてまいりました。未だに‘関東>関西’というイメージは覆せてはおりませんが、全日本大学選手権、全日本選手権において活躍する貴部の姿、活躍に大変な悔しさと憧れを抱きました。立命館大学や京都大学、貴部の活躍を筆頭に関西勢に勢いを感じます。

我々も昨シーズンの悔しさをばねとし今シーズンこそはこれまでの状況を打破しようとこれまでの常識を変え、練習に励んでおります。

貴部におかれましても更なる向上を求める練習に励まれていると思います。今年度も幾度となくレースで顔を合わせる機会があると思いますが、そこで互いの全力をぶつけ、ハイレベルなレースを繰り広げていきましょう。

関西勢がインカレの舞台で大暴れし、互いの部員たちが最高に輝けるよう頑張っていきましょう。

大阪大学漕艇部 主将 江藤 健一朗

滋賀大学経済学部ボート部

この度は部報「力漕」のご発刊、誠におめでとうございます。

昨年度、我々滋賀経の成績は芳しくないものでした。目標としていたインカレでも大変悔しい思いをしました。年々部員も減少傾向にあり、男子はフォアを組むことすらままならないほどです。この、衰退してきた我が部が、本年度掲げているものは「一丸」というものです。部活とは人です。まとまりなしに、勝利、発展はないと考えています。今年を基盤に、我が校は立て直しを図り、近い未来インカレで勝利することを目標としています。今後の滋賀経を見ていたければ幸いです。

貴部とも同じ瀬田川で漕いでいる大学ということで負けられない相手ですが、お互い切磋琢磨し、共に最終舞台のインカレで良き華を咲かせましょう。

滋賀大学経済学部ボート部 主将 辻 剛平

立教大学体育会ボート部

この度は、部報「力漕」第16号の発刊、誠におめでとうございます。

我が立教大学ボート部は昨年から始まったアスリート選抜入試制度により部員が増えはじめ、非常に活気づいて参りました。

貴部とは戸田に遠征される際しか顔を合わせる機会がないですが、お互いに切磋琢磨していきたいと思っております。

貴部のますますのご発展を心よりお祈り申し上げております。

主将 佐藤 崇宗

近畿大学体育会ボート部

2008年、近畿大学体育会ボート部は創部30周年を迎えました。今回はそのことについて書かせていただこうと思います。

1978年、近大ボート部が創部されました。当時は自艇もなく、練習もままならない状況だったのですが、監督がある企業のボート部の方を説得し、フォアを1艇格安で譲ってもらいました。やがて部員も増え、エイトを購入してコーチにも就いてもらい、本格的にボート部は動き始めました。男子が舵手付きフォア「絆」でインカレ準決勝に進出するまでになり、30周年という節目を迎えました。それに伴い、11月に30周年記念式典を開催し、現役とOB・OGの方と交流を持つことが出来ました。これまで現役とOB・OGの方とはあまり接する機会がなかったので、これを機に深い交流が持てればと思います。

他の大学に比べれば我々の歴史はまだ浅いですが、この30年、大きな事故はなく無事に活動してくることができました。これから先50年、100年と、事故なく、より一層活躍していくように、これからも頑張って行こうと思います。

最後になりましたが、同志社大学ボート部のさらなる発展と活躍をお祈り申し上げます。

近畿大学ボート部　主務　伊佐治　哲広

神戸大学漕艇部

この度は部報「力漕」の発行、誠におめでとうございます。

昨年度は新人戦の前に合同合宿をさせていただき大変お世話になりました。今年度は残念ながら新人戦前の合宿を開催することが出来ませんでしたが、冬、春、夏と瀬田に赴く予定ですので、そのときに合同練習、合宿を行ってお互いに切磋琢磨できれば、交流も深められ、強くなる為のさらに良い刺激になるのではと思う次第です。

最後になりましたが、貴部の更なるご発展とご活躍を心より願っております。

神戸大学漕艇部　泉澤　俊希

龍谷大学漕艇部

この度は部報「力漕」の発行、誠におめでとうございます。同志社大学とはボート以外にも色々な面で関わりを持たせていたいので嬉しく思います。また昨年は関西の大学がインカレで上位入賞を果たすも優勝は出来ず、ほとんど関東の大学で占められているので、今年はお互いに切磋琢磨し、関西を盛り上げ優勝できるよう頑張っていきましょう。そして将来的には関東のように瀬田川流域でも各大学同士での対抗戦が開ければ大いに瀬田川、関西が盛り上がり、活気づくと私は思いますので、これから検討していきましょう。

最後になりましたが、貴部の更なるご発展とご活躍をお祈りし、私の挨拶とさせていただきます。

龍谷大学漕艇部　副主将　村田　一洋

卒業生の言葉

前主将 川口 正嗣

工学部 エネルギー機械工学科
私立上宮高校（大阪）
大学院進学



私が主将になって最初に考えたことは、2008年に4+優勝と、2011年に8+優勝、をするためには、どうすればいいのかということでした。考えた結果‘あたりまえ’のレベル上げなければと思いました。

どのようなことかと言いますと、たとえば、強豪大学では毎年のように練習をし、インカレに出場します。同様に、私たちも毎年のように練習をし、インカレに出場します。ここ強豪大学では、練習量を5とします。（数値が大きいほど練習量が多く、質が高いとします。強豪大学では、毎年やっているのだから、5の量を‘あたりまえ’だと思いその量で1年を過ごします。一方、私たちも、3が‘あたりまえ’だと思い、苦しみながらも3の量で年間を過ごします。そして、インカレを向かえ、5の量を‘あたりまえ’だと思って過ごしてきた強豪大学が勝ち、私たちが勝てないことは明らかでしょう。お分かりのように、1の練習で‘あたりまえ’のレベルが異なることにより、このたとえでは、2の差が生じます。この差が1年間でどんどんたり、私たちは、勝てないと考えました。

実際に、この練習量における‘あたりまえ’のレベルを上げるため、新体制に入ると上生の中には、例年よりも、量・質が多いことで、苦しんでいる者もいました。例年と同じ基準（勝てない基準）で比較するから苦しいのであり、その例年の基準（勝てない基準）で比べていることを捨てて、新しい基準（勝てる基準＝‘あたりまえ’）をつくりあげるのだと聞かせました。現役部員は、実感していますよね？一号～南郷2往復って普通ですよね、2.5往復が‘あたりまえ’になってしまんか？？

結果は、3位であり優勝できませんでした。ただ、この練習量における‘あたりまえ’のレベルを上げられたと思います。だから、今年は、去年の‘あたりまえ’のレベル（せいぜいインカレ3位のレベルですが）より上で考えていいってほしいです。少なくとも、昨年よりも‘あたりまえ’のレベルを下げないようにしてほしいです。

他に、‘あたりまえ’のレベルを上げようとしたことは、戸田の予選でいいレースをするとでした。例年瀬田で仕上がり良くても、戸田に行くと調子を落としてしまうことが‘あたりまえ’になっていたからです。なので、瀬田の練習から、レースアップは大事にするよ

にと、毎回、毎回練習前に言ってきたことを現役部員はおぼえているでしょうか？結果的に、インカレで4+、4-が予選1、3位タイム、全日本では、4+が予選5位タイム、全日本新人では、4+が予選1位タイムというレース内容であったことから、‘あたりまえ’のレベルをアップできたのだと思います。また、この‘あたりまえ’のレベルを上げられたことで、インカレ・全日本で一緒に4+に乗っていたメンバーは、私たちの‘あたりまえ’のレベルが低いところが見えてきたのではないでしょうか？強豪大学は、決勝・準決勝で勝負強さをだすことが‘あたりまえ’、ラストスパートへの切り替えで猛烈なスパートをして‘あたりまえ’などですね。私たちボート部には、強豪大学と比較すると‘あたりまえ’のレベルが低いところが多々あります。この低いレベルのところを気づき、上げていってほしいです。来年からは戸田での予選でいいレースをするのが‘あたりまえ’であるチームであってください。

ということで、目標に沿った‘あたりまえ’のレベルをどこまでもつていけるかが大事なのです。関選で勝つレベルに置くこともできますし、ナックルレガッタで勝つレベルに置くこともできます。目標と‘あたりまえ’のレベルは、同じ位置でなければなりません。目標だけが高く、‘あたりまえ’のレベルが低いと勝てません。同志社大学ボート部はインカレ8+で勝つことに目標を置いたのだから、その目標に沿った‘あたりまえ’のレベルの練習量・質、レース展開などを‘あたりまえ’にやるしかないのです。

同志社大学ボート部が色々な‘あたりまえ’のレベルをどんどんあげて、8+でインカレの決勝に残り、そしてその決勝において1位でゴールするのが‘あたりまえ’であるチームになってほしいです。期待しています。

最後になりましたが、目方監督、高橋コーチ、松尾コーチ、OB・OGの皆様、同回、後輩本当にありがとうございました。無事に引退することができました。引退してからの艇友会会員としての付き合いのほうが長くなると思いますが、これからもどうぞよろしくお願ひします。

前副将 有木 良輔

経済学部 経済学科
兵庫県立明石北高校（兵庫）
新日鐵住金ステンレス株式会社



はじめに、目片監督、高橋コーチ、松尾コーチ、ならびに艇友会のみなさま、四年間大変お世話になりました。この場をお借りして、深くお礼申し上げます。そしてこれからは同じ艇友会員としてご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願ひ致します。

引退したあと、合宿所に足を運ぶことがあります。新体制になり、もうここは自分の場所ではないと感じ、改めて自分がもう現役ではないことを実感します。そう思うと少し寂しい気持ちになりますが、そう思うのも私の大学生活のすべてがこの合宿所に詰まっているからだと思います。私はこの同志社大学ボート部に出会い、そして漕ぐことができて本当に幸せでした。もし普通の学生をしていたら(何をもって普通というのかわかりませんが...)、味わうことができなかつた濃密でディープな学生生活を送らせてもらえたことに感謝しています。

4年間を振り返ってみると、冬練の厳しさ、エルゴタイムが伸びなくて悩んだ、一年生(?)先輩に『アドリア』に連れて行ってもらって話を聞いてもらったなあ)。新人戦で腹切りした二年生(あの時は本当にごめんなさい)。先輩と乗って漕いだ、三年生(ボートに集中できし、いろんなことを吸収できた一年だった)。よく艇の上で衝突した瀬川との2ー、それで最後まで一緒になって戦ってくれた、四年生。たくさんのことがありました。それらすべてが私の財産です。

私たちはあまり冴えない学年だったかもしれません、仲が良く、チームワークは抜群(?)だったと思います。最後までやり抜いたこの9人は掛けのない仲間です。そして最後まで俺たち漕手を支えてくれたマネージャーの佐藤、北野、ありがとうございます。感謝しています。

最後の一年は何も結果を残すことができませんでしたが、この一年、最上回生として後輩に少しでも多くのことを伝えようと努めきました。私自身がボートを愛することで、ボートの楽しさを伝えようとやってきたつもりです。それは私が今までの先輩から教えていたことを私も同じように後輩に伝えていくことが同志社ボートの伝統であり、使命だと感じていたからです。

かわいい後輩たちに四回生として最後のお願いです。
いつかの『力漕』にも書かれていますが、私たちが果たせなかった目標は必ず君たちが達成してくれると信じています。それを2011年に達成してほしいと思います。私が一年生の時の『力漕』に書いた「古豪復活」を願っています。頼んだぞ。

それともう一つ、練習はしんどいものです。愚痴もたくさん言ってください。でも目標だけはしっかりと見据えてそれに向けて準備してください。しんどいことでも一緒にやってくれる仲間が隣にはいるだろ? 野球の「流れ」と一緒です。良い流れを切らさないでこのまま昇気流に乗っていってください。よろしくお願ひします。

ボート部で過ごした時間がこれから的人生において大きな糧となり、心の支えになってくれると思います。現役生、今の時間を大切にしてください。ボートもキャンパスライフも両方充実させてください。過ぎてしまった時間は返ってはきません。きっと何物にも替えがたいものになると思います。私はボート選手としての悔いは残っていますが、少なくともトータルでキャンパスライフを充実させることができたと思っています、たぶん。説教染みたところと言ってすいません。伝えたいことがたくさんあって・・・。
とにかく、今を精一杯漕いでくれ!! 応援しています。

「ありがとう、イージョ。」

前主務 瀬川 敏克

政策部 政策学科
大阪府立今宮高校(大阪)
ロート製薬株式会社

終わってみれば、この四年間は非常に短いものでした。

しかし、その間にボート部に入るまでに過ごしてきた時間で得たものより何倍もの成長の糧を得ることができたように思います。

浪人上がりの身でありながらボート部という環境に身を置くことを許してくれた両親に感謝したいです。ありがとうございます。

そして、多くの失礼、失態があったにも関わらず指導してくださった目片監督、高橋コーチ、本当にありがとうございました。

また、入部当初から様々な形で指導してくださった先輩方、四年間支えあい主務になつたからは特に支えてくれた同期九人の仲間、教える側ではあったけれど教えられることも多かつた後輩たち、幹事会に出るようになってからお世話になったOBの先輩方、その他有形無形様々な形で応援して下さった方々、その誰一人欠けても今の私はありえないと思います。この場を借りて御礼申し上げます。

四年間、漕手として研鑽し残した2000mタイムトライアルのベスト記録は6:54。
最初が7:28、最悪タイムが7:29。四年になってから初めて7:00を切りました。
監督・コーチからすれば戦力として計算できない選手であったと思います。体重は合宿所の

飯を毎回完食しても増えず、後輩にエルゴタイムはどんどん抜かれ、果ては腰を壊して大きな冬に一ヶ月も漕げなかつたりして、本当につらかったし、ちっぽけなプライドは粉々にち碎かれました。正直やめたいと思ったこともありました。一時期くさりきつたこともありました。でも、そこであきらめず、結果を出そうと工夫し、あがきもがくことで現状・現が変えられました。その過程で得られたものは今後の人生において自分自身を支えるものなったと思います。それが自分の誇りであり自慢できるものです。

三年で主務になってからは別の種類の苦労をしました。スケジューリング・事務処理・取り・情報の共有…。自分にとって苦手で苦労することばかりでした。仕事をためすぎて校に行けなかったことも(笑)次から次へと問題が起こってどうしたらいいか分からなくなつときもありました。(なつ！大沼君！！)そんなとき、愛すべき女子マネたちと優秀な後輩今関、コワい会計・河合と頼れる同期たちとのチームワークで乗り切ることができました。自分ひとりではたいしたことはできませんが、チームの一員としてなら何かできる、そんなことを実感した一年でした。ありがとう、みんな！

自分の欠点を知りました。逆に長所も知りました。現状を変えることが出来る事を知りました。気持ちのコントロールをすることを知りました。現状を嘆く前に自分がこれまでやってきたことを厳しく振り返ることを知りました。教えることが実は自分のためになることを知りました。新しいものをもっと取りいれることが大事であることも知りました。研究・夫の偉大さを知りました。情報の重要性を肌で感じました…etc.

やり残したこと、出来なかったこと、後悔は得られたものと同等かそれ以上ありますがそれも全部ひっくるめて自分の力になっていると思います。

ボート部に感謝！！！！！

最後に、後輩たちへ、余計なお世話を。

結果が出ない=自分はダメだ とは決して考えてはいけないように思う。なぜなら自分の姿が見えなくなるから。「自分は良いか悪いか」の二択でしか自分を考えられなくなるんじゃないかと思う。

ほんとに大事なのは、今までの自分の行動は積み重ねて結果につながる行動だったかを考えることだと思う。そこからじゃあ今からどんな行動を積み重ねるか。一つの行動を変えることが「変わる」ってことじゃないだろうか？結果を出すことにこだわってみよう。考にどうぞ。

前会計

河合 弘貴

経済部 経済学科

滋賀県立膳所高校（滋賀）

滋賀県庁

毎日起きてストレッチをしながら、「今日こそ辞めますと言う」。心の中で唱えていた大部屋時代から3年が経ち、引退という形でボート生活を締めくくることができたことに、感謝でいっぱいです。

振り返ってみて、この場で伝えたいことは様々ありますが、今を現役で頑張っている後輩にこれだけは言っておきたいことがあります。ありきたりですが、「現状に満足するな」です。ボート部の居心地の良さに流されないでください。今の自分に満足しないでください。自分の意思をしつかり持ってください。時には熱くぶつかったり、辞めることが必要かもしれません。周りに流されず自分で考え行動してください。そしていつかボート部を去る時に笑顔でいられるように今を過ごしてください。これは自分自身の後悔と反省の言葉ですが、最後まで続けたことには少しの悔いもありません。

思い出すとつらかったこと、楽しかったこと半分ずつぐらいに感じますが、得がたいものを得たという実感は確かにあります。そして今感じていることをこれからも忘れない生きていきたいと思います。最後になりましたが、支えてくださった皆様には心より御礼申し上げます。

前学連

金野 裕輝

文学部 国文学科

大阪府立三島高校（大阪）

株式会社日能研関西

やっているときは延々と続き、終わってしまえばあっという間。そんな言葉が本当に当てはまるボート部生活だったように思う。この4年間を振り返ってみると、さまざまな思い出があふれてくる。

入学式でボート部に勧誘され、初めてボートという競技を知ったこと。ナックルレガッタでの奮闘、同回生で組んだ加古川エイト、初めて出場したインカレ、悔しい思いをした朝日、優勝した関選、そしてなにより濃い時間を過ごした4年目の学連という選択。さまざまな事

柄が自分にあったから成長できたと思っている。

私は学連の役職を受け継ぐ際に、とても自分で葛藤があった。「試合に出ることがでなくなる、つまりは優勝なんてできない。全国優勝する、という目標を抱いて入部したのに最後の一年を裏方に回っていいのか。」しかし、自分がしなければならないという使命感が引き受けた。そこで何をすればいいのか、それは自分にとっての新しい挑戦になった。

「お前が漕手を降りてマネージャーになるのなら、そこにお前がいなければならぬ意を作れ。誰がなっても同じだったら、わざわざお前がなる必要はない。だから、お前のしきれないことを、お前の存在価値を最大限に見出す行動に出ろ。」

この言葉を忘れることなく、この一年間胸に刻み、行動してきたつもりだ。同期や後輩目に自分はどう映ったのだろうか。

どんなに苦しくても、やりぬいたことは自分にとって大きな経験になった。一生のうちこれほど悩み、苦しんだと共に楽しんだ、そして嬉しかった時間はほかにはないだろう、言える時間を過ごせたと思う。それほど、ボートという競技は競技以上に教えてくれるものがたくさんある。

大学でボートに出会えてよかった。ありがとう。

川渕 智貴



経済部 経済学科
私立比叡山高校（滋賀）
日本紙パルプ商事株式会社

を持っています。その考えを否定したり、自分の考えを押し付けたりしては駄目で、理解はしなくともいいが、是非共有してみてください。それが様々な悩みに答えを『出す』助けになると思います。

その上でボート部を楽しもう。ボート部から逃げて楽しみたいと思う奴もいるだろう。でも、それじゃあ大学の4年間を楽しめても社会に出てからの何十年を楽しむことはできないと思う。嫌だと思っていることから逃げているだけだからだ。嫌だ嫌だと思うのは簡単だ。そうじやなく、何が嫌で、どうしたら嫌じやなくなるかしっかり考えよう。嫌なことがあるなら、それを自ら楽しめるように変えよう。意識を変えてもいいし、具体的な行動をおこしてもいい。お客様気分でいるんじやなく、自ら楽しみを切り開いていこう。自ら楽しもうとしている奴がボート部でも楽しんでいるように思う。何も楽しさだけが全てじゃないが、樂しくないよりは楽しい方がメリハリがついていいと思う。これができればどの組織に属そうが、柔軟に対応できると思う。そうじやなければ、どこに行っても愚痴を言っているだけになるだろう。偉そうなこと言いましたが、つまり総会でも言った『踊らされるな。自ら踊れ！』ということを意識してほしいです。H20年卒K先輩がおっしゃった言葉は私にとって本当に心に残っています。最後になりましたが、これまで支えてくださったOB・OG・監督・コーチの皆様に心から感謝の気持ちを述べたいと思います。そして、現役部員1人1人の活躍を期待しています。4年間ありがとうございました。

内藤 肇人



文学部 文化史学科
関西大倉高校（大阪）
株式会社高島屋

この卒業生の言葉を見るたびに現役の時に感じていたことがあります。みなさん、ボート部のことを褒めちぎっていますが、そんなことはないだろう。不満の方が多かったのではないか。自分がこの原稿を書く時は、現役当時の不満も書き綴ってやろう、そう考えていました。

しかし、引退してから数ヶ月がたちました。そんな思いはどこへやら、あれだけ多く抱えていた不満は消え去り、良い感情しか私の脳には残っていません。人間の脳ってものは不思議なものです。茂木健一郎先生に詳しく聞いてみたいものです。

現役当時、特に一回生のころは辞めてやろうということしか考えていませんでした。そし

引退してあらためて現役だった頃の写真を見てみた。そこに写っている自分がいい表情していることに初めて気付いた。あるマネージャーの『悩んだ数だけ表情が豊かになる』という言葉を思い出した。ボート部に所属していたときが人生で一番悩んだ時期なのは間違いない。答えの出ない悩みを抱え、日々過ごしていた時もあった。でも、それをやり抜いたときに出了表情にウソ偽りはないと思う。自分で言うのもなんだが、「本当に嬉しそうだな、こいつ」と思ってしまった。それまでの自分の表情のなんと無機質なことか。

現役みんなに言いたいのは「大いに悩んでください」ということです。そして、その悩みに対して答えを探すんじゃなくて、自力で悩み抜いて答えを出して下さい。そのためには様々な価値観の集合体であるボート部は最高の環境です。1人1人が本当にいろんな考え方、

て、いざ、辞めようと決意したタイミングで同回のセレクションが辞めました。「これは、ソラードタイミングすぎるだろ」心の中で、物凄い勢いでツッコミました。辞められるに辞められなくなった私は、泣き続けました。そんな時、ある言葉を思い出しました。「悩んだら、迷人組みではなく叱り合うことさえできる仲になり、一緒に大笑いしたり、一緒に泣いたり、い方の道を選べ」これは、もと近鉄監督の西本幸雄氏の言葉です。楽な道を選んだものには見えない、もともと自分から入りたいと言ったクラブだ、4年間ここで頑張ろう、そう見えるようになりました。年を重ねるごとにボートの魅力が分かりはじめ、最後の一年は、このボート部での生活が終わってしまうことが、嫌で嫌でしょうがなかったです。まさに、どうでん返しです。このような、気持ちの大革命を起こしてくれるのがボート部です。辞ようとか思っている後輩たちは、この革命を信じて、必死にボートに打ち込んでください。

私は、就職出来たのもボート部の先輩が先に第一希望の企業に入社されたからですし、ボート部にいたからこそ、それなりの体力を身につけられました。現役当時、エルゴもまわらず、体も小さかった私は、ボート部の戦力にはなれませんでしたが、ボート部は、内藤毅の大きな戦力となりました。巨人で言うラミレス、楽天でいうと岩隈ぐらいいの戦力です。の大きな戦力をいかして、いち社会人として、またボート部OBとして、頑張っていきたく思います。

最後になりましたが、今まで私のボート部での活動を支えてくださった、OB、OGの方々、自ら監督、高橋コーチ、松尾コーチ、同回、後輩のみなさんに、この場で感謝の意を表したいと思います。4年間、どうもありがとうございました。

前統制 佐藤まい子



文学部 英文学科
京都府立嵯峨野高校（京都）
日本生命保険相互会社

はじめに、4年間を共に過ごし、持ち前の優しい空気で私を癒してくれた同回生、私達を思って叱咤激励して下さった先輩方、頗もしくておしゃめな後輩漕手たち、私と北野の2人しかいないことで大きな負担をかけたにもかかわらず、いつも一緒に大はしゃぎしてくれた後輩マネ、熱心に指導して下さった自方監督、高橋コーチ、松尾コーチ、影ながら見て下さったたくさんのOB・OGの方々、全ての方々に心より感謝の気持ちを申し上げます本当に、本当にありがとうございました。

入部してから約2週間後、4人だった同回マネが2人になりました。突然の寂しさと不

中の、既にボート部が大好きだった私と北野は、「2人で頑張って行こう！」とそのとき約束しました。今思えば、北野と2人だったからこそお互いを深く理解し合え、ただの仲良し2人組みではなく叱り合うことさえできる仲になり、一緒に大笑いしたり、一緒に泣いたり、充実した4年間を過ごせたのだと思います。

しかし、北野のパソコン能力が部内で眩しい程輝きました2回生の頃、私は部での存在意義を見出せずにいました。IT上の問題を優秀なパソコン能力で解決していく人気者の北野に対し、私は部の為に何もできない悲しくなりました。そこで私は、特別なスキルがないなら普段の仕事を完璧に、そして誠実に！という思いでマネ業に取り組みました。そんな年夏、引退された4回生マネの先輩からいただいた手紙に、「私はまい子に期待しています。年夏、引退された4回生マネの先輩からいただいた手紙に、「私はまい子がいてよかったです。」という言葉、将来統制を任せたいという言葉がありました。部での存在意義を見つけられずにいた私はこの言葉に救われましたし、今でもその先輩にとても感謝しています。私はボート部での経験を通して、能力の有無を他人と競うのではなく、自分の役割や能力を見つけそれに向けて努力する姿勢を学びました。

しかし、悩みから救ってくれたのはそれだけではありません。歯を食いしばってウェイトをする姿、吼えて気合を入れ一生懸命にエルゴを引く姿、熱心にビデオを見ながら遅くまで自分達の漕ぎについて話し合う姿、漕手のそんな姿を見る度、存在意義なんて悩んでないで全力でこの人たちを支えたい！と感じました。私は本当に漕手を尊敬しますし、こんな漕手たちを支えられるマネージャーという仕事に誇りを感じます。そして、大学生活をボート部で過ごせたことを幸せに思います。

ボート部で学んだこと、ボート部でのたくさんの人々との出会い・経験は、これからもずっと私の宝物です。

後輩の皆さん、辛い時は仲間との絆・思いやりを大切にし、先が見えなくても自分がどうありたいか、どうなりたいかということだけは見失わず、これからも頑張っていって下さい！！

私もこれからはOGとして、一生懸命なキラキラした皆を、同志社大学ボート部を応援していきます！！

前広報 北野万里香



社会学部 メディア学科
同志社国際高校（京都）
株式会社リクルートエージェント

部活を引退して三ヶ月が経とうとしています。去年は就活の傍ら力漕の編集に追われていたのを思い出すと、原稿を書いて後輩に送信するだけというのは少し寂しい気がします。

ボート部では沢山の事を考え、動き、悩み、学びました。特に学年が上がるにつれ、そのサイクルは多様化し頭がパンクしそうにもなりました。そんな時、支えてくれていたのはいつも同回生のみんなでした。特に、統制のまい子には私の足りない面を補つてもらったりで、彼女が居たからボート部をより良くしていくこうとずっと前を向いていられたのだと思います。漕手のみんなも、それぞれが不器用だけど優しくて思いやりのある最高の7人でしたとボート部と一緒に活動出来たことを誇りに思っています。

「勝っても負けても、笑顔でおかえりと言えるマネージャーになりたい」

これは、ずっと私の中にあった目標です。全力でマネージャー業をこなし、試合に送りした後はただひたすら応援する。漕手が全力を出した結果だと知つていれば、どんな結果も返ってくる漕手を笑顔でむかえられるだろうと思っていました。

しかし、現実にはマネージャー業に終わりはなくあっという間に引退の日が来ました。悔いは残り、やり残したことも沢山あります。でも振り返ると得たものも沢山あるなどします。自分が動いたことで少しでもボート部が良くなったり、後輩が立派に成長してくれている、OBさん達からお疲れ様と言って貰えた、それだけでも充分な価値を生み出せた大変な生活だったと思います。

これから社会に出るにあたって不安はありますが、ボート部での経験が私に他の人とは違うという自信を持たせてくれます。今頑張ることは決して無駄にはなりません。現役のみな、これからも頑張って下さい！！

モンドセレクション

最高金賞の うまさです。

サントリー

ザ・プレミアム・モルツ



世界一の味



お酒は20歳を過ぎてから、飲酒運転は法律で禁止されています。妊娠中や授乳期の飲酒は、胎児・乳児の発育に悪影響を与えるおそれがあります。お酒はなによりも適量です。のんびりおしゃべり。



ザ・プレミアム

モルツ

夢を

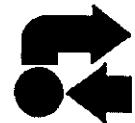
育てる会社

DreamGP

Dream Growing Platform

大阪市北区菅原町 11-10 オーキッド中之島ビル 6F

株式会社ドリーム・ジーピー



株式会社 王子製作所

船舶用機装部品・建設機械部品
並びに各種製缶加工・一般建築鉄骨施工

本 社 兵庫県加古郡播磨町新島23番地
電話 加古川 (0794) 37-1600(代)
FAX (0794) 35-6181

丸龜工場 香川県丸龜市垂水町2747番地
電話 丸龜 (0877) 28-7004
FAX (0877) 28-5162

企業を
元気にする。

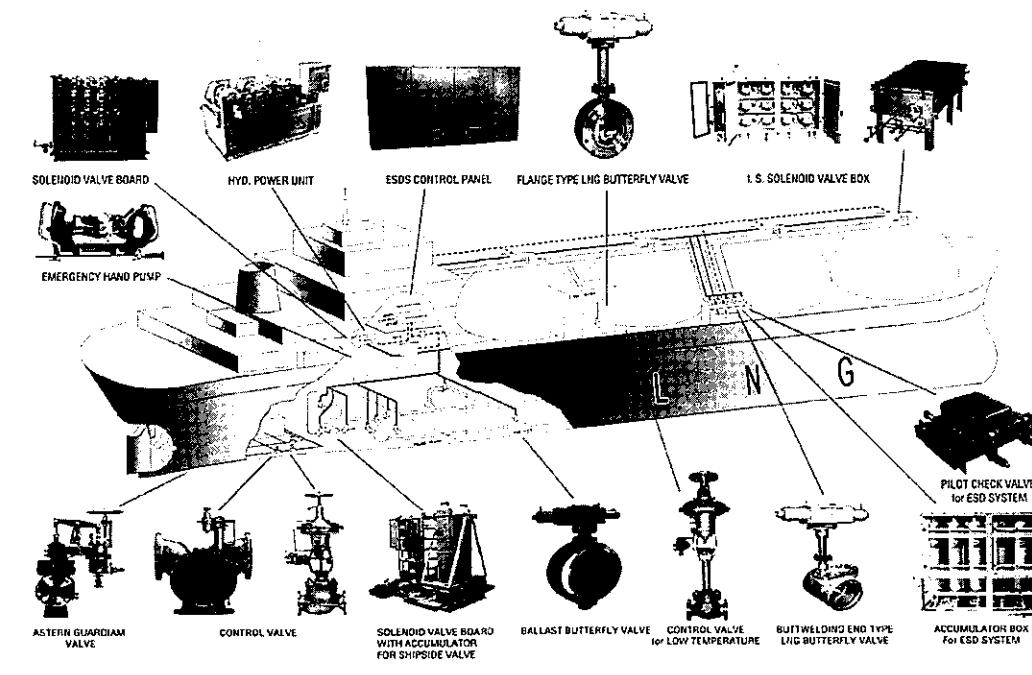
- マネジメントシステム認証取得支援
ISO9000/ISO14000
ISO27000(ISMS)
- 経営コンサルティング
- システム開発
- WEB 製作
- CAD アウトソーシング

株式会社マドック
大阪市浪速区日本橋西1丁目3-19 南海日本橋ビル1F

“企業を元気にする会社”
MADOC
Management Doctor Corporation, Inc.
www.madoc.co.jp

Frontier Spirit(次世代技術を革新する)

REMOTE CONTROL SYSTEM FOR LNG "CARRIER"



株式会社 中北製作所

本社・工場：〒574-8691 大阪府大東市深野南町1番1号

Tel : (072) 871-1341 (代) (072) 871-7871 (代)

Fax : (072) 871-1337

Web : <http://www.nakakita-s.co.jp>

E-mail : info@nakakita-s.co.jp

東京営業所：〒105-0013 東京都港区浜松町1丁目27番地17号(三和ビル)

Tel : (03) 3431-7201 Fax : (03) 3431-5594

E-mail : tbus@nakakita-s.co.jp

北九州営業所：〒802-0001 北九州市小倉北区浅野2丁目11番15号(KMM別館)

Tel : (093) 531-5481 Fax : (093) 521-4993

E-mail : kbus@nakakita-s.co.jp

船用バルブと遠隔操作装置の世界トップメーカーの中北製作所は
同志社大学ボート部を応援します!

世界を相手に働きたい学生さんは就職相談お待ちしています。

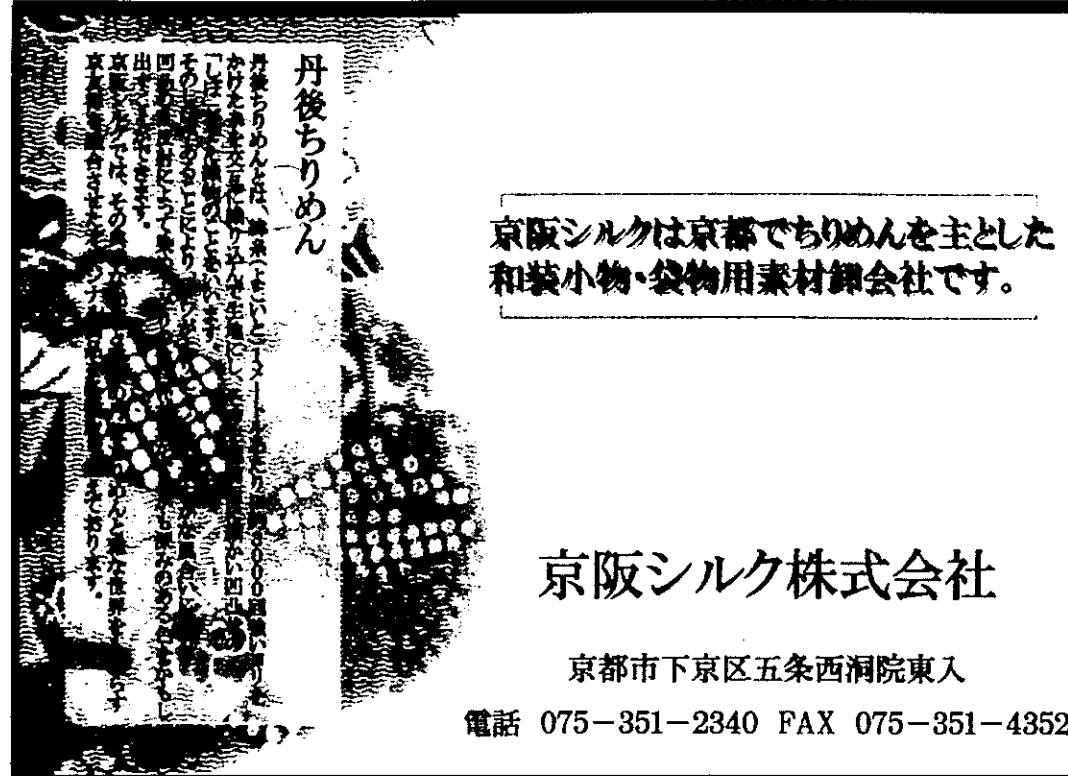
総務部 山下(S46年 法学部卒)/Tel (072) 871-1331

<http://www.nssc.co.jp>



使う人に喜び、扱う人に希望、作る人に誇り。
ステンレスで社会に貢献します。

新日鐵住金ステンレス株式会社
Nippon Steel & Sumikin Stainless Steel Corporation



京阪シルクは京都でちりめんを主とした和装小物・袋物用素材卸会社です。

京阪シルク株式会社

京都市下京区五条西洞院東入

電話 075-351-2340 FAX 075-351-4352



■ 近くて便利な ■

南部自動車学校

☎0596-23-1155(代)



オトザム伊勢

 〒519-0503 三重県伊勢市小俣町元町1648-10
AUTOZAM TEL:0596-27-3236 FAX:0596-27-3706

大東自動車株式会社



<http://www.hobbyspace.co.jp>



株式会社ホビースペース・インターナショナル
 ●本社：東京都板橋区西伊勢町1-10-16 日百昌ビル3F SYCLE TEL:03-5835-4955 FAX:03-5835-4956
 ■一般販売：販売免許登録番号：京政販売局販賣登記第A2618号、1910
 ■運送会社：ヤマト運輸、佐川急便、日本通運、中外運、DHL
 ■各地取扱店：各販賣店、書店、模型店
 ■販賣店：全日本3500店舗以上
 ■社員：全員日本語と英語の二言語で販賣
 ■社説：日本語と英語の二言語で販賣
 ■財團法人日本書店、木村技術セミン
 ■本店住宅合理化システム認定登録者S15A-18

中村印刷株式会社
親和紙器株式会社

本 社 〒743-0011 山口県光市光井1丁目15-20
TEL 0833-71-0020
FAX 0833-71-0142

〔パンフレット、シール、ビジネスフォーム、チラシ、冊子物、印刷物全般〕

あからからも、よきのちから。

◆住友林業

森の中に、地球がある。

森に木を植えて、何十年もかけて育てて、その木で家をつくり、また木を植える。自然と人がいっしょに生きている住友林業の仕事。それはエコロジーの考え方も含んだ、より大きく持続的な活動「サステナブル」のひとつです。遠い未来まで計画的に育てられる森はイキイキとして、動物たちが息づき、地球温暖化の原因であるCO₂も吸収する。人は、快適で健康的な木の家に暮らし続ける。住友林業のサステナブルな仕事から、幸せの循環が広がっていきます。

住友林業、そのすべてがサステナブル。

→ウェブで「吉ごりんの森」と検索してください。ご意見・ご感想もお願いします。
住友林業株式会社〒100-8270 東京都千代田区丸の内1-8-1(丸の内トラストタワーN館)

0120-21-7555
受付時間9:30~17:00
(七日・祝日もお受けします。)
sfc.jp/ie
お客様からいただいた個人情報は、注文住宅の建築請負等の当社住宅事業のご案内等に利用させていただきます。詳しくは当社ホームページ(<http://sfc.jp/ie>)をご参照ください。

石山温泉観光料理旅館

松乃井

石山唯一の温泉旅館。
宴会、歓送迎会、法事のご予約承ります。
温泉付き・カラオケ設備有り、
烹飪送迎致します。

滋賀県大津市石山螢谷三番三十一号
(077) 537-1000 69-1027

ひわ湖蔚田川畔 政府登録国際観光旅館

元祖
あみ定

別館 勢多
夕のやかた

春は桜 夏は夕涼み
秋のお月見 冬は都島(ヨカミ)の舞
瀬田中之島の四季折々の風情の中で
ご会合、ご慶事・ご法事などの集いに、
お料理とご宿泊をご利用下さい。

<掘りごたつ宴会場でのんびりと>

〒520-0851 滋賀県大津市唐橋町23-1
TEL 077-537-1780㈹ FAX 077-537-1791
ホームページ <http://www.biwa.ne.jp/~amisada>

日本生命

ずっと支える。もっと立つ。
日本生命

体力科学機器 SCIENCE

産業科学機器 INDUSTRIAL SCIENCE

八神国際貿易株式会社 YAGAMI INTERNATIONAL TRADING CO., LTD.
HEAD OFFICE: NO.2-29, 3-CHOME, MARUNOUCHI, NAKA-KU, NAGOYA 460, JAPAN
TEL: (052) 962-3311 / FAX: (052) 971-1334 / E-mail: yagami@infonia.ne.jp



丸山法律事務所

大阪市北区西天満2-10-2
幸田ビル10F
丸山 英敏
TEL 06 (6365) 6188

セブン-イレブン

お酒・たばこ・ATM
取り扱っております。

大津瀬田西インター店
大津市瀬田3-34-1
TEL 077-545-3749

そば・一品料理

あ づ
吾 婦

大津市瀬田1丁目19-31
TEL 077-545-0011

カフェ
レストラン **アドリア**

湖岸道路唐橋下ル
TEL (077) 537-1439

“良い品と一緒に送ろう真心を”
クッキング・デボ タイヘイ株式会社

京滋・北陸地区 滋賀営業所
〒520-3024 滋賀県栗東市小柿7丁目8-27
077(553)7440

鉄鋼・建材・各種ルーフ・ウォール・成型加工

松井金属工業株式会社

京都市下京区高辻通柳馬場東入雁金町162
TEL 075-361-9341

明治初期、全国に近江牛の名を広めた老舗

MATSUKIYA **近江松㐂屋牛 松㐂屋**

TEL 077-534-1211 FAX 077-537-6201

霞

メニュー豊富・お持ち帰りOK
Tel 077(543)8685

寺万商店

大津市瀬田2-2-3
(077) 545-0006

abアースしが

[滋賀県青年会館]
077-537-2753 (代)
〒520-0851 滋賀県大津市唐橋町23-3

日本酒とビール・ウイスキーの店

北井酒店

瀬田商店街
0120-45-2113
FAX 43-0220

【広告を随時募集しております】

同志社大学ボート部の部報は広告費から発行費用を頂いております。発行部数は600部、配布対象は本学学生、艇友会員、各企業、一般の方々をなっております。

掲載をご検討して頂ける方は dabc@skyblue.ocn.ne.jp までご連絡頂ければ広報より詳細をお伝え致します。どうぞご検討の程、よろしくお願い致します。

自転車専門店

タナカサイクル

大津市松原町12-6 (びわこサイクルのななめ前です。)
TEL 077-534-0888

Laule'a
5-16-20
Seta Otsu-shi Shiga Japan
Zip 520-2134
Tel/Fax 077-547-3972

薬膳食館 中国茶房 喫茶去

〒520-0853 滋賀県大津市螢谷4-45
TEL. 077(537)2598 FAX. 077(533)5766
<http://www.yakuzenkan.com>

近江牛焼肉 麗門

大津市栗津町8-1
077-537-3700

BEAUTY COLLECTION LEAF
jackbeans
cut/color/perm/make

FamilyMart

瀬田四丁目店 077-544-5177
滋賀県大津市瀬田4-266-1

FRESCO
神領店 〒520-2132 滋賀県大津市神領3丁目8-5
TEL (077) 547-4411 FAX (077) 547-4412
URL <http://www.super-fresco.co.jp>

証明写真・¥1000
コマイ写真館
石山・京都信用金庫前
(松原バス停前)
☎(FAX) 537-3122

編集後記

皆様のおかげで、今年も「力漕」16号を無事発行することができました。今年は「艇友会特集ページ」と企画を立て、3名の方からお言葉を頂くことができました。先輩方の同志社大学ボート部に対する熱い気持ちを感じたとともに、この部報が沢山の人々のご協力があつて成り立つものだと改めて実感致しました。この「力漕」16号をご覧になって現役部員の想い、先輩方の想い、共に感じ取っていただければ幸いです。

最後になりましたが、広告掲載にご協力頂いた地元商店やOB・OG企業の皆様、諸先輩方、寄稿文を執筆して頂いた他大学の皆様、岡本部長、日片監督、高橋コーチ、松尾コーチ、末廣コーチ、川口コーチ、特別寄稿を寄せてくださった清水先輩、諸先輩方に心より御礼申し上げます。今後とも同志社大学ボート部にご指導、ご声援の程よろしくお願ひいたします。

同志社大学ボート部 広報担当 小野 麻衣子
奥 知里

同志社大学ボート部 部報「力漕」Vol.16

2009年3月発行

発行者 同志社大学ボート部

〒520-2134 滋賀県大津市瀬田3丁目2-30

TEL 077-545-0702

FAX 077-543-1194

MAIL dubc@skyblue.ocn.ne.jp

広告費掲載料振込先 滋賀銀行瀬田支店 普通預金

口座番号 474219

代表 小野 麻衣子

同志社大学ボート部 公式ホームページ

<http://www.dubc.jp/>

※是非一度ご覧下さい！



DUBC. jp